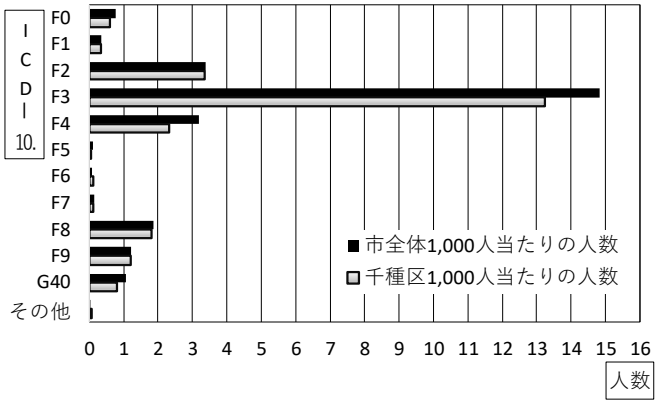
3 地域精神保健福祉

(1)保健センター事業

表３－１　保健センター精神保健福祉事業概要一覧

<table>
<tr><th colspan="6">千　種　保　健　セ　ン　タ　ー</th></tr>
<tr><td>地区の特性</td><td colspan="5">今池を中心とした西部の商業・ビジネス地区、池下・覚王山・自由ヶ丘周辺の中部の住宅地区、大学や東山動植物園などがある東部の文教地区からなる。
地下鉄が 3 路線 11 駅、JR 中央線が 1 駅あり利便性に恵まれている。
住環境・商業・自然・教育がバランスよく調和したまちとして発展している。
精神科医療へのアクセスもよく、区内に 2 つの精神科病院を有し、精神科、心療内科を標榜する診療所も多い。</td></tr>
<tr><td>人　口
(7.10.1 現在)</td><td colspan="2">総数　165,890 人(男　80,444 人　女　85,446 人)
世帯　91, 301 世帯</td><td>学区</td><td>15</td><td>面積　18.18 ㎢</td></tr>
<tr><td>自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)</td><td colspan="5">
<table>
<tr><th></th><th>千種区</th><th>市全体</th></tr>
<tr><td>F0</td><td>106人</td><td>1,801人</td></tr>
<tr><td>F1</td><td>60人</td><td>816人</td></tr>
<tr><td>F2</td><td>580人</td><td>7,923人</td></tr>
<tr><td>F3</td><td>2,284人</td><td>34,775人</td></tr>
<tr><td>F4</td><td>400人</td><td>7,458人</td></tr>
<tr><td>F5</td><td>10人</td><td>263人</td></tr>
<tr><td>F6</td><td>20人</td><td>220人</td></tr>
<tr><td>F7</td><td>20人</td><td>352人</td></tr>
<tr><td>F8</td><td>315人</td><td>4,371人</td></tr>
<tr><td>F9</td><td>211人</td><td>2,841人</td></tr>
<tr><td>G40</td><td>139人</td><td>2,515人</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>11人</td><td>115人</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>4,156人</td><td>63,450人</td></tr>
</table>
【千種区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】


</td></tr>
<tr><td>自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)</td><td colspan="5">指定病院 5 か所【うち精神科病院 2 か所(精神病床 481 床)、精神科外来病院 3 か所】
指定診療所 29 か所【うち精神科等診療所 16 か所】、指定訪問看護事業所 30 か所
デイケア 3 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 3 か所、ショートケア 2 か所、リワーク 0 か所</td></tr>
<tr><td rowspan="3">障害福祉サービス等事業所数
(8.3.31 現在)</td><td>訓練等給付</td><td colspan="4">共同生活援助 16 か所、自立訓練(生活訓練)0 か所
就労移行 8 か所、就労 A 型 10 か所、就労 B 型 24 か所</td></tr>
<tr><td>介護給付</td><td colspan="4">居宅介護 56 か所、短期入所 5 か所</td></tr>
<tr><td>計画相談・地域相談支援給付</td><td colspan="4">計画相談支援 14 か所、障害児相談支援 12 か所、
地域移行支援 9 か所、地域定着支援 9 か所</td></tr>
<tr><td>地域精神保健福祉活動における課題</td><td colspan="5">令和 7 年度事業実績</td></tr>
<tr><td>1　複合問題世帯に対する、より包括的な支援体制の構築
2　地域住民、医療機関、高齢者支援機関等への普及啓発
3　成人発達障害に係る普及啓発、事業所育成
4　学校と連携した普及啓発等若年層への支援</td><td colspan="5">【精神保健福祉相談】
相談件数　延 760 件
訪問件数　延 359 件
電話相談件数　延 1,560 件
【集団指導等】
①発達障害家族のつどい 12 回延 120 人
(内容)家族同士の体験交流、発達障害や二次障害についての学習等。
②家族教室「精神疾患の基礎的理解」
14 人
【その他の事業】
①　地域密着企画事業上映会「どうすればよかったか？」とミニ講話　(千種・中・昭和・名東4区共催)　155 人
②　自由が丘学区地域支えあい事業研修会　39 人
③　愛知県精神医療センター職員及び入院患者向けの取組(東ブロック構成機関、ピアサポーターと協働)　2回　延 28 人
④　菊里高等学校生徒会執行部　健康講話　7 人
⑤　名経大市邨中学校高等学校 PTA 「10 代からのメンタルヘルス」 19 人
⑥　自殺対策月間区役所内普及啓発ブース　延 996 人</td></tr>
</table>

東　保　健　セ　ン　タ　ー

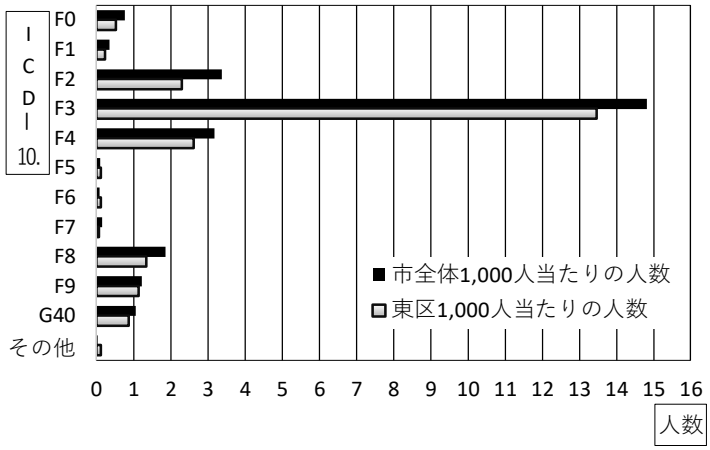
地区の特性	当区の南西部は都心の商業ビジネス地域の一角を形成し、経済活動の拠点としての役割を担っている。中央部は城下町として閑静な住宅街。東北部には多数の教育施設と娯楽施設、そして住宅団地の並ぶ商住の混合地域となっている。 また名古屋市最初の区の一つとして誕生した歴史と文化の街でもある。管内に精神病床を有する病院はないが、精神科等診療所には区外を含めて比較的アクセスしやすい。

人口 (7.10.1 現在)	総数　90,599 人(男　43,230 人　女　47,369 人) 世帯　51,063 世帯	学区	9	面積	7.71 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	東区	市全体
F0	48人	1,801人
F1	20人	816人
F2	209人	7,923人
F3	1,218人	34,775人
F4	237人	7,458人
F5	10人	263人
F6	11人	220人
F7	6人	352人
F8	121人	4,371人
F9	104人	2,841人
G40	78人	2,515人
その他	11人	115人
合計	2,073人	63,450人

【東区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 0 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 0 か所】 指定診療所 20 か所【うち精神科等診療所 8 か所】、指定訪問看護事業所 12 か所 デイケア 0 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 7 か所、自立訓練(生活訓練)3か所 就労移行 3 か所、就労 A 型 8 か所、就労 B 型 11 か所
	介護給付	居宅介護 20 か所、短期入所 10 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 10 か所、障害児相談支援 9 か所、 地域移行支援 6 か所、地域定着支援 6 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　相談・訪問活動の充実 2　こころの健康相談日の活用 3　こころの健康づくりに関する知識の普及啓発 4　支援機関や所内他職種との連携強化	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 395 件 訪問件数　延 282 件 電話相談件数　延 1188 件 【集団指導等】 家族のつどい　6 回　45 人 (内容)社会資源や病気に関する学習、ピアサポーター体験談、近況報告、相談等	【地域密着企画事業】 ・自立支援連絡協議会精神保健福祉研修会「ようこそ依存症の世界へ」講話・ピアサポーター体験談参加者 16 人 ・なごやかまつり・ひがしへの出展 こころの健康にまつわるパネル掲示と健康クイズを出題。精神保健普及啓発物品として区内就労継続支援 B 型の物品を 380 個配布。

北　保　健　セ　ン　タ　ー

地区の特性

当区は、JR や名鉄、市営地下鉄などの公共交通機関や、国道 19 号・41 号、名古屋高速 1 号楠線、名古屋環状線などの幹線道路が縦横に通じ、都市の発展に重要な役割を担っている。また、公団・公営の大規模住宅団地が多く点在し、単身の高齢者や精神障害者も多い。

未受診・未治療者に関する家族からの相談や、高齢者の精神保健に関する相談が増加しつつあるため、関係機関との支援ネットワークの体制を構築していく必要がある。

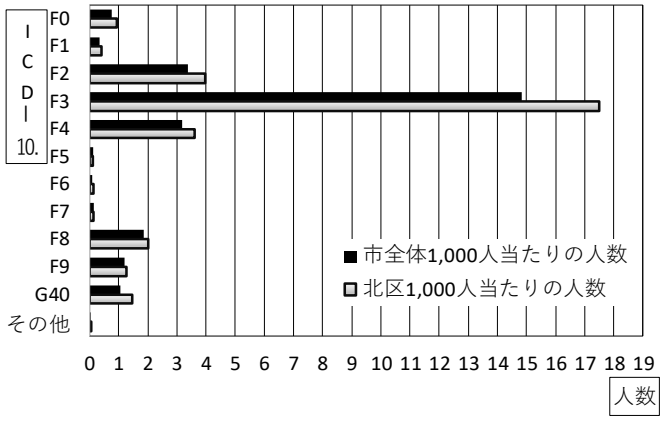
北区の精神医療・保健福祉関係機関等で組織され、自立支援連絡協議会の精神部会として位置づけられている北区精神保健福祉ネットワーク「メンタルネットきた」が、普及啓発活動や地域の支援者作り、当事者交流などに取り組んでいる。

人口（7.10.1 現在）	総数　160,198 人（男　78,256 人　女　81,942 人）	学区	19	面積	17.53 ㎢
	世帯　81,013 世帯				

自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数（8.3.31 現在）

	北区	市全体
F0	152人	1,801人
F1	67人	816人
F2	636人	7,923人
F3	2,800人	34,775人
F4	579人	7,458人
F5	16人	263人
F6	20人	220人
F7	21人	352人
F8	320人	4,371人
F9	201人	2,841人
G40	235人	2,515人
その他	8人	115人
合計	5,055人	63,450人

【北区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数】



自立支援医療（精神通院）指定医療機関（8.3.31 現在）

指定病院 5 か所【うち精神科病院 1 か所（精神病床 217 床）、精神科外来病院 2 か所】
指定診療所 20 か所【うち精神科等診療所 12 か所】、指定訪問看護事業所 37 か所
デイケア 4 か所、ナイトケア 2 か所、デイナイトケア 2 か所、ショートケア 3 か所、リワーク 1 か所

障害福祉サービス等事業所数（8.3.31 現在）

訓練等給付	共同生活援助 30 か所、自立訓練（生活訓練）1か所 就労移行 5 か所、就労 A 型 9 か所、就労 B 型 27 か所
介護給付	居宅介護 85 か所、短期入所 20 か所
計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 13 か所、障害児相談支援 13 か所、 地域移行支援 7 か所、地域定着支援 7 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　自立支援連絡協議会・精神部会（メンタルネットきた）を中心とした支援ネットワークの充実 2　所内他職種との連携強化 3　重層的支援体制整備事業及び高齢者支援機関との連携強化 4　未治療者及び治療中断者への支援	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 391 件 訪問件数　延 304 件 電話相談件数　延 1,524 件 【集団指導等】 家族のつどい　4回　66 人 （内容）「親なき後の備え」をテーマに、相談機関やサービス等の紹介及び交流会を実施。	【その他の事業】 ①地域密着企画事業 こころの健康講演会 「振り回されない、他人の身勝手なフキハラに！～科学的根拠と対処法を知れば脳もごきげんに～」参加者：106人 ②出前講座 民生委員等向け普及啓発 参加者：24人（全2回）

西　保　健　セ　ン　タ　ー

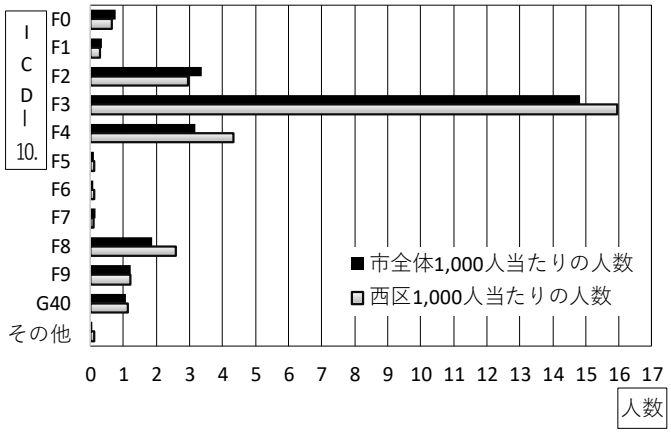
地区の特性	当区は、明治 41 年 4 月に名古屋市 4 区制実施により誕生し、中、東、南区とともに、市内で最も歴史ある区のひとつ。区域には数多くの史跡や昔ながらの街並みと、近代的なオフィス街や活気あふれる繁華街をあわせもつ。また、過去に東海豪雨をはじめ大きな水害に見舞われたことから、災害対応力の高いまちづくりに取り組んでいる。 区内の精神科等のクリニック数も増えつつあるが、精神病床を有する精神科病院がなく、隣接地域の医療機関や支援機関の協力を得ている現状がある。自らの体験談を伝えることにより、長期入院者の退院に向けた動機づけ支援や、地域住民や支援者等に対し普及啓発を行う精神障害者ピアサポーターの活動が盛んである。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　152,613 人(男　75,130 人　女 77,483 人) 世帯　79,844 世帯	学区	19	面積	17.93 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数(8.3.31 現在)

	西区	市全体
F0	101人	1,801人
F1	45人	816人
F2	456人	7,923人
F3	2,454人	34,775人
F4	668人	7,458人
F5	19人	263人
F6	18人	220人
F7	16人	352人
F8	398人	4,371人
F9	186人	2,841人
G40	174人	2,515人
その他	17人	115人
合計	4,552人	63,450人

【西区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 4 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 1 か所】 指定診療所 20 か所【うち精神科等診療所 14 か所】、指定訪問看護事業所 32 か所 デイケア 2 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、 リワーク 2 か所

障害福祉サービス等事業所数(8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 27 か所、自立訓練(生活訓練)2 か所 就労移行 4 か所、就労 A 型 10 か所、就労 B 型 38 か所
	介護給付	居宅介護 64 か所、短期入所 14 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 22 か所、障害児相談支援 21 か所、 地域移行支援 12 か所、地域定着支援 12 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績
1. 多職種連携による支援体制の強化 2. 地域の支援機関のネットワーク機能の充実 3. 援助希求能力が十分でない方への対応	【精神保健福祉相談】 相談件数　延　694 件 訪問件数　延　461 件 電話相談件数　延　1,929 件 【地域密着企画事業】 「精神障害者ピアサポーターと協働して行う、地域移行促進のための普及啓発活動」 (ピアサポーターの体験談を普及啓発用に映像化) 【集団指導等】 精神障害者家族教室　4 回　94 人 (内容)①対話の仕方　②ヒューマンライブラリー　③本人との関わり方　④ヒューマンライブラリー　※すべての回で保健師による健康教育を実施。

中　村　保　健　セ　ン　タ　ー

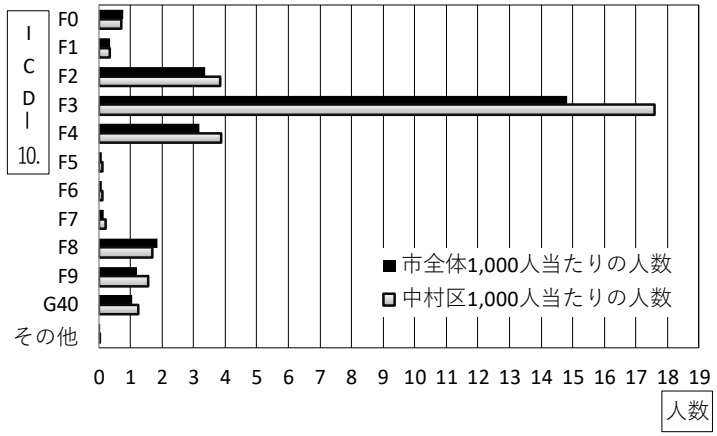
地区の特性	当区は市の北西部に位置し、区内東部は名古屋駅、オフィス街があり、中央部は新旧の住宅街が混在し、西部には住宅街のほか農地がみられ、文化史跡も数多くみられる。 人口は創設時より増加傾向が続き、昭和30年代終わり及び昭和40年代初めには一時20万人を越えていたが、昭和40年代半ばから減少が続いた。平成17年には37年ぶりに増加し、その後は増減を繰り返している。 医療施設は管内に精神科病院があり、精神科等クリニックも多数ある。また、障害者に関する施設等も多数あり、受診や支援を受けやすい環境が整っている。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　143,789 人（男 72,789 人 女 71,000 人） 世帯　82,623 世帯	学区	18	面積	16.30 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	中村区	市全体
F0	104人	1,801人
F1	49人	816人
F2	563人	7,923人
F3	2,572人	34,775人
F4	565人	7,458人
F5	16人	263人
F6	17人	220人
F7	30人	352人
F8	246人	4,371人
F9	227人	2,841人
G40	185人	2,515人
その他	4人	115人
合計	4,578人	63,450人

【中村区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 5 か所【うち精神科病院 1 か所(精神病床 345 床)、精神科外来病院 1 か所】 指定診療所 28 か所【うち精神科等診療所 19 か所】、指定訪問看護事業所 36 か所 デイケア 2 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 1 か所、ショートケア 0 か所、リワーク1か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助32か所、自立訓練(生活訓練)2か所 就労移行8か所、就労 A 型 12 か所、就労 B 型 40 か所
	介護給付	居宅介護 65 か所、短期入所 16 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 14 か所、障害児相談支援 15 か所、 地域移行支援 9 か所、地域定着支援 9 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　若年者に対するセルフメンタルケアの促進と普及啓発活動、相談窓口の周知 2　支援機関間の情報共有や相互理解、ネットワーク構築推進 3　未治療者や治療中断者に対する支援の充実	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 1,038 件 訪問件数　延 815 件 電話相談件数　延 2,237 件 【その他の事業】 地域密着企画事業 むらごとプロジェクト ・全体会(全体調整会議) 3 回 43 人	・むらごとネット(ネットワーク構築) 支援者研修:1 回 77 人 家族支援のチラシ作成 ・むらごとワーク(普及啓発活動) 専門学校・大学　4 回 190 人 イベントでの活動 2 回 300 人 ・むらごとグッズ(普及啓発物品) 中村区「ひとりじゃないよ」おまもり作成　若年者版 2,600 枚、全世代版 2,000 枚

中　保　健　セ　ン　タ　ー

地区の特性

中区は市の中央部に位置し、北部に官庁街、中心部にビジネス街・ショッピング街を抱えているため、昼間人口比率が市内でも突出して高い。令和 7 年度国勢調査では前回調査と比べ、人口と世帯数が増加数・増加率ともに市内で最も大きくなっているほか、東区に次いで二番目に人口密度が高い区でもある。近年外国人住民が多くなった事、当区に住民票の無い住民が多い事も特色である。単身世帯が多く、高齢の単身世帯における認知症等の相談や、孤独感を抱えた若い世代の相談が増加している。

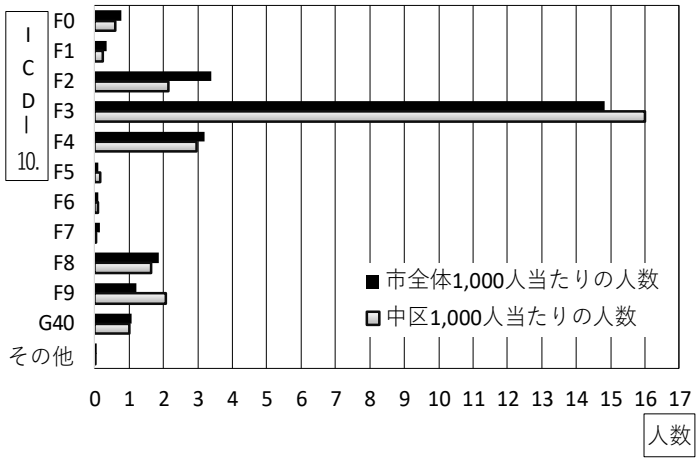
区内には日中活動系サービスを提供する障害福祉サービス事業所が非常に多く、そのアクセスの良さから、区外や市外からの通所者も多い。同様に精神科・心療内科の診療所も市内で最も多く、通院しやすい医療環境にある。

人口（7.10.1 現在）	総数　107,614 人（男　54,079 人　女　53,535 人）	学区	11	面積	9.38 ㎢
	世帯　74,801 世帯				

自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数（8.3.31 現在）

	中区	市全体
F0	64人	1,801人
F1	26人	816人
F2	232人	7,923人
F3	1,734人	34,775人
F4	322人	7,458人
F5	18人	263人
F6	11人	220人
F7	5人	352人
F8	177人	4,371人
F9	225人	2,841人
G40	110人	2,515人
その他	1人	115人
合計	2,925人	63,450人

【中区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数】



自立支援医療（精神通院）指定医療機関（8.3.1 現在）

指定病院 4 か所【うち精神科病院 1 か所（精神病床 38 床）、精神科外来病院 0 か所】
指定診療所 42 か所【うち精神科等診療所 28 か所】、指定訪問看護事業所 16 か所
デイケア 1 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数（8.3.31 現在）

訓練等給付	共同生活援助 5 か所、自立訓練（生活訓練）2 か所 就労移行 21 か所、就労 A 型 21 か所、就労 B 型 45 か所
介護給付	居宅介護 43 か所、短期入所　2 か所
計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 16 か所、障害児相談支援 14 か所、 地域移行支援 11 か所、地域定着支援 11 か所

地域精神保健福祉活動における課題

1　相談・訪問援助活動の充実
2　関係機関との連携強化
3　こころの健康相談日の活用
4　保健センター内での多職種連携

令和 7 年度事業実績

【精神保健福祉相談】
相談件数　延 221 件
訪問件数　延 272 件
電話相談件数　延 1,380 件

【集団指導等】
卓球を楽しむ会　12 回　延 65 人
（内容）市内在住の当事者が集まり、卓球の練習やシングルス戦を中心に活動。

【その他の事業】
・地域密着企画事業　上映会「どうすればよかったか？」とミニ講話（千種・中・昭和・名東4区共催）　155 人
・出張健康相談　2 回　延 36 人

昭　和　保　健　セ　ン　タ　ー

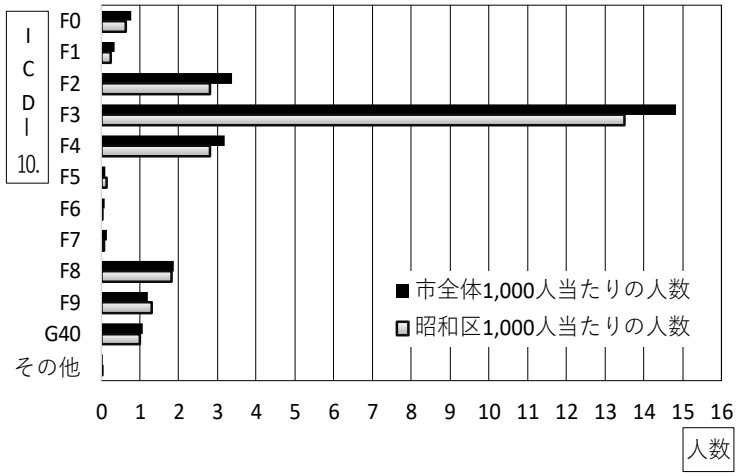
地区の特性	当区は市のほぼ中心部にありながら、鶴舞公園や興正寺公園などの自然環境が多く残っており、また JR 中央線、地下鉄鶴舞線・桜通線が通っており、利便性に恵まれた地域である。中央部から東部にかけては閑静な住宅街、古くからの落ち着いた住宅地が続いている。西部は古くからの商店街や町工場のある商・工・住の混在地であったが、近年は中高層のマンションが建ち、住宅・商業地区へと変化しつつある。文教施設が多いため、20代の比率が他区と比較して高い。また、核家族化の進行とともに高齢者世帯が増加し、独居、寝たきり、認知症等の高齢者問題や親なき後もなお、ひきこもる子どもの問題も出てきている。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　109,184 人(男　53,538 人　女　55,646 人) 世帯　56,882 世帯	学区	11	面積	10.94 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	昭和区	市全体
F0	69人	1,801人
F1	28人	816人
F2	305人	7,923人
F3	1,472人	34,775人
F4	307人	7,458人
F5	15人	263人
F6	4人	220人
F7	7人	352人
F8	199人	4,371人
F9	141人	2,841人
G40	108人	2,515人
その他	3人	115人
合計	2,658人	63,450人

【昭和区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 6 か所【うち精神科病院 2 か所(精神病床 217 床)、精神科外来病院 3 か所】 指定診療所 24 か所【うち精神科等診療所 16 か所】、指定訪問看護事業所 21 か所 デイケア 2 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 8 か所、自立訓練(生活訓練)1か所 就労移行 1 か所、就労 A 型 4 か所、就労 B 型 10 か所
	介護給付	居宅介護 51 か所、短期入所 7 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 11 か所、障害児相談支援 9 か所、 地域移行支援 8 か所、地域定着支援 7 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　相談・訪問援助活動の充実 2　精神保健福祉に関する支援者の対応力を向上するための支援の充実 3　こころの健康相談日の活用	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 121 件 訪問件数　延 93 件 電話相談件数　延 610 件 【集団指導等】 家族のつどい 4 回　延 22 人	【その他の事業】 ・地域密着企画事業　上映会「どうすればよかったか？」とミニ講話(千種・中・昭和・名東4区共催) 参加者　155 人 ・地域密着企画事業 「血めぐり改善と良質な睡眠のための講座」(健康づくり事業と共催)

瑞　穂　保　健　セ　ン　タ　ー

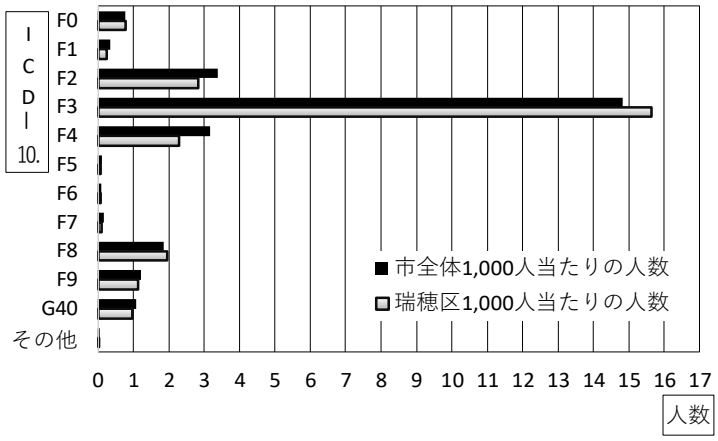
地区の特性	当区は閑静な住宅街が広がる東部、工場や事務所などが多く見られる西部、住宅・商店街・中小企業などが混在する中央部により形成されている。 区内には名古屋市立大学を始め多数の教育施設や博物館などがあり、市内有数の文教地区となっている。古くから自営業を営む富裕層も多く、近隣との繋がりの強い地区も多い。 近年では高齢化の進行とともに、独居、認知症などで見守り等が必要な高齢者世帯の問題、親なき後もひきこもる子供の問題など、家族・近隣住民からの相談も増えている。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　109,381 人(男　52,459 人　女　56,922 人) 世帯　53,369 世帯	学区	11	面積	11.22 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	瑞穂区	市全体
F0	87人	1,801人
F1	26人	816人
F2	311人	7,923人
F3	1,717人	34,775人
F4	251人	7,458人
F5	9人	263人
F6	9人	220人
F7	11人	352人
F8	215人	4,371人
F9	125人	2,841人
G40	107人	2,515人
その他	2人	115人
合計	2,870人	63,450人

【瑞穂区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 3 か所【うち精神科病院 1 か所(精神病床 28 床)、精神科外来病院 0 か所】 指定診療所 17 か所【うち精神科等診療所 10 か所】、指定訪問看護事業所 27 か所 デイケア 2 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 2 か所	
障害福祉サービス等決定者数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助15か所、自立訓練(生活訓練)2か所 就労移行3か所、就労 A 型2か所、就労 B 型18か所
	介護給付	居宅介護32か所、短期入所　8か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援9か所、障害児相談支援8か所、 地域移行支援4か所、地域定着支援4か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　相談・訪問援助の充実 2　多様化する相談にあわせた支援力の向上 3　関係機関との連携強化	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 154 件 訪問件数　延 211 件 電話相談件数　延 1,300 件 【集団指導等】 家族のつどい　2 回　28 人 ・第 1 回「深く理解する！リハビリテーションってなに？」 ・第 2 回「臨床心理士が教える心理カウンセリングについて」	【その他の事業】 地域密着企画事業 ・「ネット世代の若者の特徴と関わり方～今どきの若者の考え方や行動を読み解こう～ 」 ・自立支援協議会にて福祉従事者向けメンタルヘルス研修 ・区民まつりにて精神保健普及啓発物品として区内の就労継続支援 B 型の物品を 200 個配布

熱　田　保　健　セ　ン　タ　ー

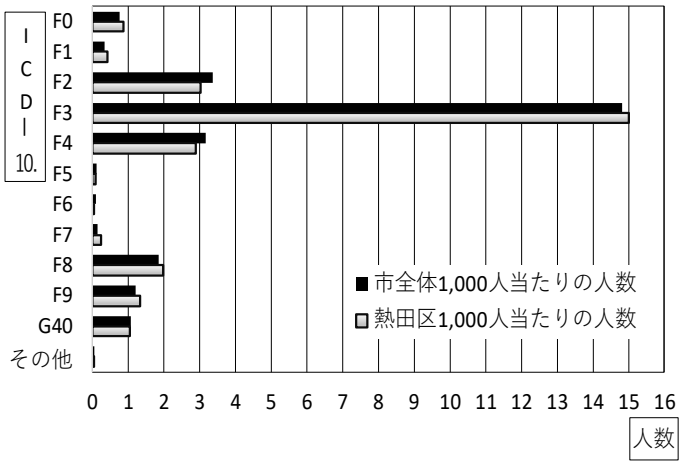
地区の特性	当区は、古くから東西交流の要衝として栄えた歴史と文化の町である。現在は金山総合駅および 3 線の鉄道、4 本の国道を擁し、熱田神宮などの史跡観光地や中央卸売市場・国際会議場、南部工業地帯など、物流や人的交流の場として発展している。 新興マンションの建設が相次いでいるが、古くからの住宅街も健在で、熱田まつりなどの地域伝統行事も活発である。区の人口は 6 万7000 人前後で、ほぼ横ばいに推移しているが、少子高齢化が進んでいる。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　67,514 人(男　33,738 人　女　33,776 人) 世帯　36,151 世帯	学区	7	面積	8.20 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	熱田区	市全体
F0	59人	1,801人
F1	29人	816人
F2	206人	7,923人
F3	1,022人	34,775人
F4	197人	7,458人
F5	6人	263人
F6	3人	220人
F7	17人	352人
F8	135人	4,371人
F9	91人	2,841人
G40	71人	2,515人
その他	3人	115人
合計	1,839人	63,450人

【熱田区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関 (8.3.31 現在)	指定病院 1 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 1 か所】 指定診療所 11 か所【うち精神科等診療所 7 か所】、指定訪問看護事業所 12 か所 デイケア 0 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助7か所、自立訓練(生活訓練)4か所 就労移行10か所、就労 A 型6か所、就労 B 型9か所
	介護給付	居宅介護275 か所、短期入所　4 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援13か所、障害児相談支援 12 か所、 地域移行支援8か所、地域定着支援8か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績
1　地域包括における関係機関との連携強化。 2　個別相談の充実(嘱託医によるこころの健康相談日の活用) 3　家族を含む地域住民や関係機関を対象にした普及啓発活動の実施	【精神保健福祉相談】 相談件数　延335件 訪問件数　延188件 電話相談件数　延644件 【集団指導等】 家族のつどい3回 (参加者)　25人 【その他の事業】 地域密着企画事業 ・こころとカラダにやさしいごはん教室　29 名参加 ・グラフィックレコーディング研修会　44 名参加 ・関係機関向け感染症対策研修　42 名参加

中　川　保　健　セ　ン　タ　ー

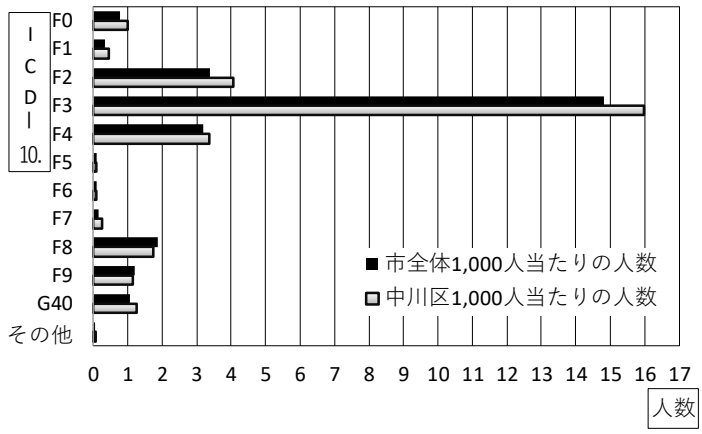
地区の特性	当区は東西に長く、面積が本市の約1割を占め、把握患者数が多い。全体に住宅や商業地域が広がっており、東部には運河を中心とする工業地域、中・西部には農業地域がみられる。大規模な公営住宅や、入所施設が多く点在している。また、高齢者や障害者の世帯が多い。 相談の傾向として医療機関への受診援助やひきこもり、単身や家族が高齢となった障害者に関する相談が多い。

人　口 (8.6.1 現在)	総数　216,796 人(男　107,148 人　女　109,648 人) 世帯　105,341 世帯	学区	24	面積	32.02 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数(8.3.31 現在)

	中川区	市全体
F0	216人	1,801人
F1	100人	816人
F2	879人	7,923人
F3	3,456人	34,775人
F4	728人	7,458人
F5	21人	263人
F6	19人	220人
F7	57人	352人
F8	378人	4,371人
F9	247人	2,841人
G40	275人	2,515人
その他	15人	115人
合計	6,391人	63,450人

【中川区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 5 か所【うち精神科病院 2 か所(精神病床 619 床)、精神科外来病院 3 か所】 指定診療所 13 か所【うち精神科等診療所 4 か所】、指定訪問看護事業所 42 か所 デイケア1か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 1 か所、ショートケア 1 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数(8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 54 か所、自立訓練(生活訓練)3 か所 就労移行 1 か所、就労 A 型 14 か所、就労 B 型 55 か所
	介護給付	居宅介護 85 か所、短期入所 18 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 20 か所、障害児相談支援 18 か所、 地域移行支援 10 か所、地域定着支援 10 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　未治療、治療中断者を含めた、支援が行き届かない方への支援と支援継続の在り方 2　家族を含めた地域住民や関係機関への充実した普及啓発活動の実施 3　精神科救急、障害者虐待、複雑困難な事例に対する判断と対応の体制強化 4　災害など非常時における地域精神保健福祉活動	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 3,413 件 訪問件数　延 575 件 電話相談件数　延 2,657 件	【その他の事業】 ・松蔭病院個別相談会 4 回 ・自立支援連絡協議会事例検討会 ・中川区東部いきいき支援センター所内勉強会　講義 ・愛知県看護協会認定看護管理者教育課程臨地実習　講義 ・管理栄養士課程学生　講義 ・校外実習生(高校生)　精神保健に関する講義

港　保　健　セ　ン　タ　ー

地区の特性

近年の港区は、平成29年に「レゴランド・ジャパン」、平成30年に「ららぽーと名古屋みなとアクルス」が開業し、全国からの注目が集まっている。

その一方で、発生が懸念される南海トラフ巨大地震や大規模な豪雨災害への対策や、増加する空家への対策、いわゆる団塊の世代が75歳以上となることを見据えた高齢者福祉の在り方、グローバル化の進展や改正出入国管理法施行による外国人住民の増加への対応など、多様化・複雑化する課題に向けてさまざまな対応が求められている。

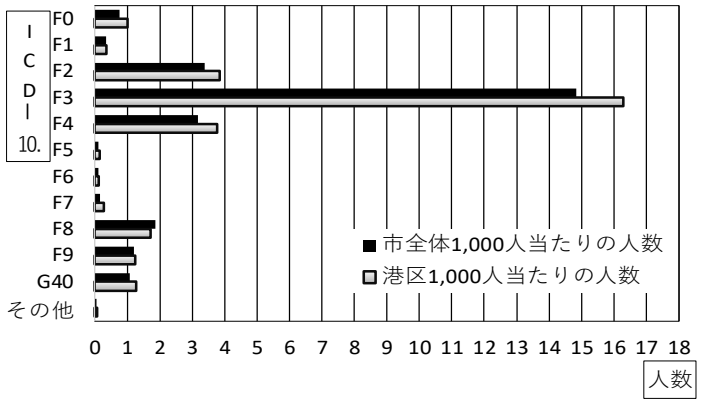
区内に精神科を受診できる医療機関が総合病院1か所、診療所 3 か所のみという現状があり、他区の医療機関での受診者が多い。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　132,755 人(男　66,278 人　女　66,477 人) 世帯　61,121 世帯	学区	20	面積	45.64 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	港区	市全体
F0	135人	1,801人
F1	47人	816人
F2	507人	7,923人
F3	2,151人	34,775人
F4	497人	7,458人
F5	18人	263人
F6	17人	220人
F7	38人	352人
F8	227人	4,371人
F9	166人	2,841人
G40	168人	2,515人
その他	10人	115人
合計	3,981人	63,450人

【港区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)

指定病院 3 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 1 か所】
指定診療所 9 か所【うち精神科等診療所 4 か所】、指定訪問看護事業所 20 か所
デイケア 0 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数
(8.3.31 現在)

訓練等給付	共同生活援助 22 か所、自立訓練(生活訓練)0 か所 就労移行 1 か所、就労 A 型 7 か所、就労 B 型 23 か所
介護給付	居宅介護 54 か所、短期入所 21 か所
計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 13 か所、障害児相談支援 13 か所、 地域移行支援 9 か所、地域定着支援 9 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　精神保健福祉相談員と保健師の協同による相談支援体制の強化 2　精神障害に対する誤解や社会的偏見をなくすための普及啓発活動の計画	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 3,207 件 訪問件数　延 327 件 電話相談件数　延 1,322 件 【集団指導等】 一期くらぶ　12 回　100 人 (内容)　地域在住の当事者へレクリエーションの場を提供。 依存症家族教室　12 回　50 人 (内容)　依存症者の家族を対象とし交流の場を提供。	【その他の事業】 地域密着企画事業 当事者と小学生の交流事業 参加者　28 人 (内容) 西築地小学校にて、当事者と小学生で協働し、創作活動を行った。 一期くらぶ運動会 参加者 12 人

南　保　健　セ　ン　タ　ー

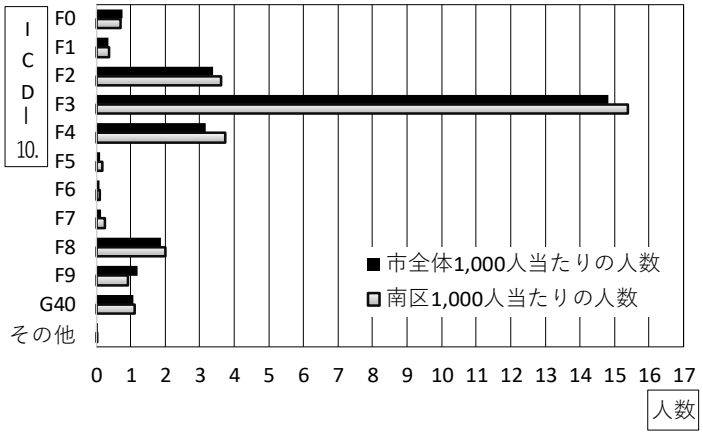
地区の特性	区内には鉄道各線が通り、国道や高速道路など交通網が充実している。西部・南部には多くの工場が立地する一方で、歴史・文化遺産が数多く残る地域や、市営住宅、高齢者向け住宅が点在している。 また、南区は高齢化率、生活保護率、精神障害者保健福祉手帳所持率が市内で最も高く、精神的な課題や生活上の困難を抱える住民への支援ニーズが高い地域である。 相談内容の傾向としては、介護者の高齢化に伴う相談が増加している一方で、若年者からの相談も多くみられ、支援対象が高齢者世帯と若年層に二極化していることが特徴である。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　132,308 人(男　66,945 人　女　65,363 人) 世帯　66,134 世帯	学区	18	面積	18.46 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	南区	市全体
F0	93人	1,801人
F1	50人	816人
F2	477人	7,923人
F3	2,031人	34,775人
F4	492人	7,458人
F5	23人	263人
F6	14人	220人
F7	32人	352人
F8	263人	4,371人
F9	122人	2,841人
G40	146人	2,515人
その他	2人	115人
合計	3,745人	63,450人

【南区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 9 か所【うち精神科病院 2 か所(精神病床 398 床)、精神科外来病院 2 か所】 指定診療所 16 か所【うち精神科等診療所 5 か所】、指定訪問看護事業所 21 か所 デイケア 3 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所	
障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 20 か所、自立訓練(生活訓練)7 か所、自立訓練(機能訓練)6 か所、就労移行 2 か所、就労 A 型7か所、就労 B 型 23 か所
	介護給付	居宅介護 50 か所、短期入所 9 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 11 か所、障害児相談支援 11 か所、 地域移行支援 5 か所、地域定着支援 5 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績
1　未受診者や治療中断者へのアウトリーチ 2　早期発見・早期支援の仕組み 3　所内における精神保健業務体制の構築	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 449 件 訪問件数　延 343 件 電話相談件数　延 2,086 件 【集団指導等】 ・家族教室　11 回　85 人 ・家族のつどい　1 回　30 人 ・親なきあと講演相談会　70 人 【その他の事業】 ・地域密着企画事業(地域活動支援センタークオーレとの共催) 「ココロとカラダにやさしいコーヒー講座」　参加者　18 人

守　山　保　健　セ　ン　タ　ー

地区の特性

本市の東北部に位置し、南に矢田川、北に庄内川が流れ、区の東北端の東谷山から西南に向かって丘陵地帯が広がる起伏にとんだ地形となっている。豊かな水と緑のあふれる自然に恵まれ、金城学院大学や愛知県立大学、国際学園などの文教施設も多く、自然環境のよさが生かされている。

区内には精神科病院が 3 院あり、病床数は市内でも群を抜いている。障害福祉サービス等事業所や訪問看護ステーションも年々増加しており、福祉サービス等の支援を受けて生活している方も多い。単身者の他、高齢の両親と同居する方や子を養育している方など、各々の生活状況に応じた柔軟な支援体制の構築が求められている。

人口（7.10.1 現在）

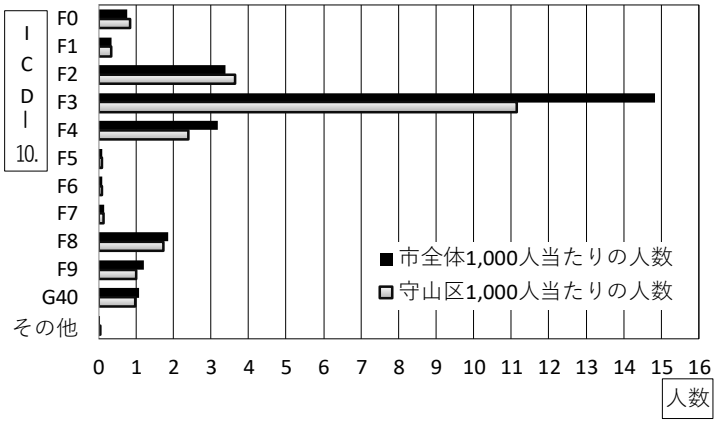
総数　176,201 人（男　85,562 人　女　90,639 人）
世帯　78,276 世帯

学区	21	面積	34.01 ㎢

自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数（8.3.31 現在）

	守山区	市全体
F0	147人	1,801人
F1	60人	816人
F2	640人	7,923人
F3	1,960人	34,775人
F4	421人	7,458人
F5	17人	263人
F6	17人	220人
F7	26人	352人
F8	305人	4,371人
F9	175人	2,841人
G40	174人	2,515人
その他	10人	115人
合計	3,952人	63,450人

【守山区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数】



自立支援医療（精神通院）指定医療機関（8.3.31 現在）

指定病院 4 か所【うち精神科病院 3 か所（精神病床 1,359 床）、精神科外来病院 0 か所】
指定診療所 9 か所【うち精神科等診療所 6 か所】、指定訪問看護事業所 43 か所
デイケア 3 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 2 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数（8.3.31 現在）

訓練等給付	共同生活援助46か所、自立訓練（生活訓練）7か所 就労移行3か所、就労 A 型4か所、就労 B 型24か所
介護給付	居宅介護106か所、短期入所26か所
計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援26か所、障害児相談支援 21か所、 地域移行支援16か所、地域定着支援16か所

地域精神保健福祉活動における課題

1　未治療者や治療中断者に対する支援の充実
2　精神科救急、障害者虐待などの緊急対応における所内体制の充実
3　関係機関との連携、支援体制の構築

令和 7 年度事業実績

【精神保健福祉相談】
相談件数　延 472 件
訪問件数　延 347 件
電話相談件数　延 1，334 件
【集団指導等】
家族のつどい 6 回　40 人
（内容）
ご家族同士の交流。講師を招いて、疾患や社会資源の学習会を実施。

【その他の事業】
地域密着企画事業
守山区こころのボランティア講座合同誌 「KOYORI（こより）」を広報誌として発行。

緑　保　健　セ　ン　タ　ー

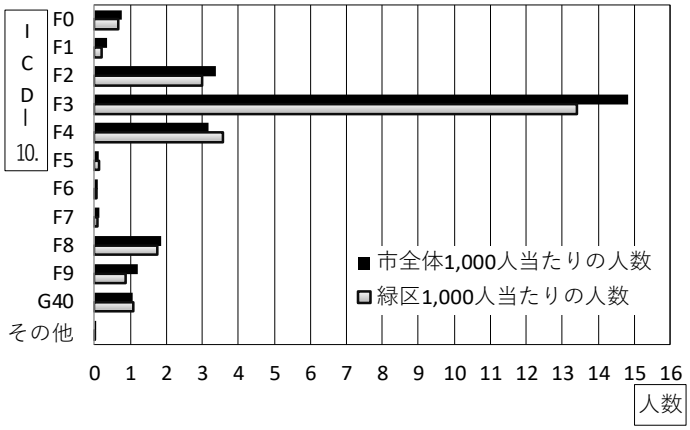
地区の特性	本市の東南部に位置し、南西部の天白川をはじめとする河川に沿った低地と北東部のゆるやかな丘陵地で形成されている。大高緑地公園をはじめとする公園の多さや、有松絞りなどの伝統産業が特徴的である。また、近年は区画整理事業が進み、新しい市街地が形成され、子育て世代が増加している。市内で2番目に広い地域に、本市人口の1割を超える、16区で最多の24万人余の人口を有する。人口増加等に伴い、精神障害者保健福祉手帳所持者、障害福祉サービス利用者等が例年増加している。 なお、区内には病床を有する精神科病院がないことから、他区や他市所在の病院との連携が必須である。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　247,991人(男 121,139人　女 126,852人) 世帯　106,833世帯	学区	28	面積	37.91 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	緑区	市全体
F0	161人	1,801人
F1	47人	816人
F2	740人	7,923人
F3	3,313人	34,775人
F4	882人	7,458人
F5	30人	263人
F6	15人	220人
F7	20人	352人
F8	435人	4,371人
F9	217人	2,841人
G40	264人	2,515人
その他	6人	115人
合計	6,130人	63,450人

【緑区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院3か所【うち精神科病院0か所(精神病床0床)、精神科外来病院2か所】 指定診療所28か所【うち精神科等診療所14か所】、指定訪問看護事業所51か所 デイケア3か所、ナイトケア0か所、デイナイトケア0か所、ショートケア1か所、リワーク2か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助27か所、自立訓練(生活訓練)2か所(機能訓練)0か所 就労移行2か所、就労A型4か所、就労B型29か所
	介護給付	居宅介護88か所、短期入所15か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援19か所、障害児相談支援18か所、 地域移行支援12か所、地域定着支援12か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和7年度事業実績
1　精神保健に関する正しい知識の普及、啓発事業の実施 2　支援者の対応力の向上 3　相談につながりにくい当事者とその家族への支援	【精神保健福祉相談】 相談件数　延3,234件 訪問件数　延483件 電話相談件数　延2,380件 【集団指導等】(家族教室) ①「孤立・孤独予防のために生活で気を付けたいこと～家族自身の健康維持を目指して～」6名 ②ケアラーズカフェwithクアオルト健康ウォーキング　10名 ③地域密着企画事業「ネット世代の若者の特徴と関わり方～今どきの若者の考え方や行動を読み解こう～ 」135名

名　東　保　健　セ　ン　タ　ー

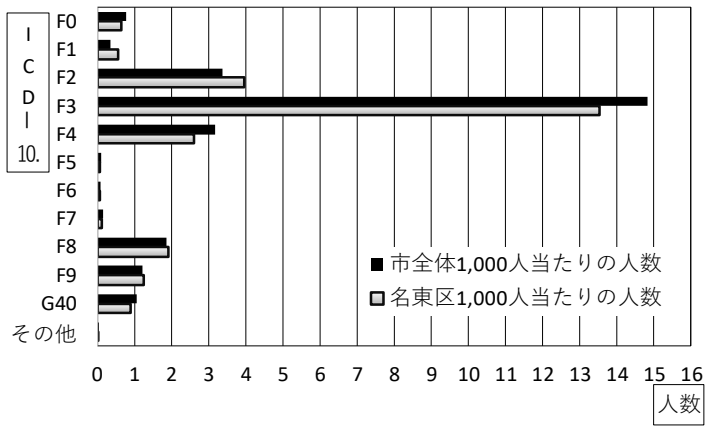
地区の特性	地下鉄や高速道路、東部丘陵線など交通の利便性の高さや、豊かな自然を感じられる大規模な緑地が複数あることから、若い世代も多く集まる市内屈指のベッドタウンとして発展してきた。転勤族が多く、常に若年層の転出入があるが、高齢化も進んでいる。相談の傾向としては、未受診・未治療者に関する家族からの相談、若年層や認知症を含む高齢者の精神保健、8050 問題、ひきこもりなど、内容は多様化している。なお、区内には病床を有する精神科病院がないため、近隣の病院との連携が重要である。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　161,851 人(男　77,121 人　女　84,730 人) 世帯　78,936 世帯	学区	19	面積	19.45 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	名東区	市全体
F0	107人	1,801人
F1	90人	816人
F2	639人	7,923人
F3	2,185人	34,775人
F4	422人	7,458人
F5	13人	263人
F6	13人	220人
F7	21人	352人
F8	310人	4,371人
F9	201人	2,841人
G40	145人	2,515人
その他	5人	115人
合計	4,151人	63,450人

【名東区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 3 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 2 か所】 指定診療所 26 か所【うち精神科等診療所 15 か所】、指定訪問看護事業所 43 か所 デイケア 1 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 21 か所、自立訓練(生活訓練)1 か所 就労移行 5 か所、就労 A 型 7 か所、就労 B 型 29 か所
	介護給付	居宅介護 88 か所、短期入所 20 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 21 か所、障害児相談支援 22 か所、 地域移行支援 5 か所、地域定着支援 10 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　相談・訪問活動の充実 2　精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築にむけてのネットワークづくり 3　重層的支援体制整備事業との連携強化 4　所内精神保健福祉業務の連携体制強化	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 667 件 訪問件数　延 438 件 電話相談件数　延 1,760 件 【集団指導等】 家族教室　6 回　25 人 (内容) 家族交流会、保健センターからのお知らせ	【その他の事業】 地域密着企画事業 上映会「どうすればよかったか？」とミニ講話 千種・中・昭和・名東 4 区共催 155 名

天　白　保　健　セ　ン　タ　ー

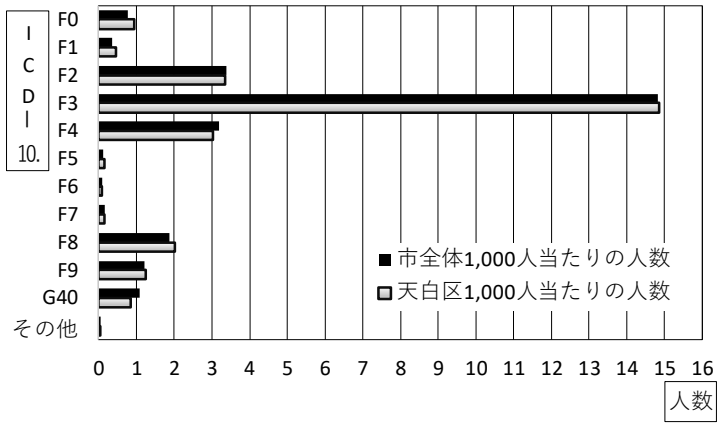
地区の特性	東部丘陵地で本市の東玄関として急速に開発がすすみ、地下鉄と市バスの公共交通網の整備とともに、公営の大規模な集合住宅や多数のマンションが供給された。農村から都市化が進んだが、相生山緑地など豊かな自然環境を残し調和がとれた環境づくりを目指している。 精神科病床を有する精神科病院があり、管内の精神科・心療内科の診療所も増えつつある。 区内や隣接する地域には大学も多く、若い世帯が多いが、高齢者精神保健、ひきこもり、依存症など相談内容は多様化している。区内には精神障害者家族会がないため、家族支援が課題となっている。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　162,515 人(男　79,460 人　女　83,055 人) 世帯　80,899 世帯	学区	17	面積	21.58 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	天白区	市全体
F0	152人	1,801人
F1	72人	816人
F2	543人	7,923人
F3	2,406人	34,775人
F4	490人	7,458人
F5	22人	263人
F6	12人	220人
F7	25人	352人
F8	327人	4,371人
F9	202人	2,841人
G40	136人	2,515人
その他	7人	115人
合計	4,394人	63,450人

【天白区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 3 か所【うち精神科病院 1 か所(精神病床 425 床)、精神科外来病院 2 か所】 指定診療所 20 か所【うち精神科等診療所 15 か所】、指定訪問看護事業所 43 か所 デイケア 1 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 1 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 35 か所、自立訓練(生活訓練)2 か所 就労移行 2 か所、就労 A 型 8 か所、就労 B 型 33 か所
	介護給付	居宅介護 73 か所、短期入所 26 か所、生活介護 21 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 19 か所、障害児相談支援 19 か所、 地域移行支援 13 か所、地域定着支援 13 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　複雑化・長期化している傾向が強い精神保健福祉相談ケースに対応できるためのチームづくり 2　「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」を推進するための地域連携体制の整備	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 382 件 訪問件数　延 427 件 電話相談件数　延 1,295 件 【集団指導等】 家族教室 11 回　延 48 人 臨床心理士による精神障害者の家族のグループワーク	【その他の事業】 地域密着企画事業 ①(天むす会)関係機関向けの勉強会 「依存症とは？地域の医療機関の取組みを学ぼう」21 人 ②4 区合同講演会「ネット世代の若者の特徴と関わり方～今どきの若者の考え方や行動を読み解こう～ 」135名

表3－2 相談・訪問援助実人員等 （令和７年度）

保健センター名	実人員	相談・訪問援助			
		新規者の受付経路（再掲）			
		医療機関	福祉機関	その他	小計
千種	435	2	10	131	143
東	151	7	6	32	45
北	273	0	9	34	43
西	216	6	8	56	70
中村	622	19	28	383	430
中	183	0	13	31	44
昭和	58	0	5	20	25
瑞穂	115	0	0	8	8
熱田	176	10	21	91	122
中川	2,711	1	0	280	281
港	2,501	1	15	2,485	2,501
南	268	0	2	127	129
守山	199	0	3	19	22
緑	3,152	0	4	87	91
名東	284	3	38	177	218
天白	173	19	24	65	108
合計	11,517	68	186	4,026	4,280

表3－3 実人員の推移

区分	3	4	5	6	7
実人員	5,974	6,890	9,848	11,469	11,517

表3－4 精神保健福祉相談件数（職種別）　（令和7年度）

保健センター名	嘱託医		精神保健福祉相談員		保健師		その他		計	
	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数
千種	33	52	247	509	56	158	15	41	351	760
東	22	35	65	195	21	59	25	106	133	395
北	28	46	125	235	38	55	23	55	214	391
西	34	73	138	448	24	55	20	118	216	694
中村	16	21	330	839	91	149	7	29	444	1,038
中	15	24	36	101	26	63	12	33	89	221
昭和	3	6	47	92	5	13	1	10	56	121
瑞穂	22	23	45	88	25	33	1	10	93	154
熱田	18	60	78	179	57	73	6	23	159	335
中川	27	49	240	423	2,284	2,912	23	29	2,574	3,413
港	2	2	308	375	2,799	2,828	2	2	3,111	3,207
南	34	101	64	173	50	156	11	19	159	449
守山	16	25	149	359	28	43	15	45	208	472
緑	15	17	117	204	2,853	2,995	6	18	2,991	3,234
名東	12	12	168	492	24	37	27	126	231	667
天白	12	36	78	159	74	108	21	79	185	382
合計	309	582	2,235	4,871	8,455	9,737	215	743	11,214	15,933

表3－5 精神保健福祉相談件数（分類別） （令和７年度）

保健センター名	実人員	延件数												
		社会復帰	高齢者精神保健	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
千種	351	380	88	12	3	0	0	11	116	59	1	3	87	760
東	133	203	25	3	0	2	0	2	71	48	1	0	40	395
北	214	248	34	12	0	5	0	11	54	17	0	0	10	391
西	216	549	30	10	0	0	0	2	66	17	4	1	15	694
中村	444	739	32	11	0	1	0	28	117	46	1	8	55	1,038
中	89	133	10	4	0	0	0	2	24	17	0	0	31	221
昭和	56	14	8	9	0	0	0	6	54	19	1	0	10	121
瑞穂	93	84	10	0	0	0	0	5	31	12	0	1	11	154
熱田	159	180	28	0	4	0	0	13	77	23	1	0	9	335
中川	2,574	1,597	9	13	0	0	0	10	67	717	0	423	577	3,413
港	3,111	2,878	14	9	9	38	0	9	193	41	8	0	8	3,207
南	159	332	1	3	0	0	1	2	60	29	0	1	20	449
守山	208	338	20	5	0	0	0	11	74	20	1	1	2	472
緑	2,991	168	63	15	1	0	0	14	120	1,561	3	90	1,199	3,234
名東	231	84	33	10	20	1	0	4	43	127	2	1	342	667
天白	185	106	22	11	0	2	4	23	83	64	2	4	61	382
合計	11,214	8,033	427	127	37	49	5	153	1,250	2,817	25	533	2,477	15,933

表３－６ 精神保健福祉電話相談件数(職種別)　　（令和７年度）

保健センター名	嘱託医	精神保健福祉相談員	保健師	その他	計
千種	0	978	412	170	1,560
東	0	829	141	218	1,188
北	0	1,018	254	252	1,524
西	1	1,109	535	284	1,929
中村	0	1,890	280	67	2,237
中	0	799	257	324	1,380
昭和	0	486	29	92	607
瑞穂	1	970	296	33	1,300
熱田	0	416	53	175	644
中川	0	1,247	1,247	163	2,657
港	0	518	754	50	1,322
南	0	1,222	587	277	2,086
守山	0	822	310	202	1,334
緑	0	1,031	1,090	259	2,380
名東	0	1,032	181	547	1,760
天白	0	440	696	159	1,295
合計	2	14,807	7,122	3,272	25,203

表3－7 精神保健福祉電話相談件数(分類別)　　(令和７年度)

保健センター名	延件数												
	社会復帰	高齢者精神保健	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
千種	463	256	29	24	1	1	22	243	272	15	9	225	1,560
東	750	50	7	0	6	0	9	159	87	0	0	120	1,188
北	972	125	18	1	10	1	21	210	110	0	0	56	1,524
西	1,230	56	22	0	0	1	11	230	198	4	7	170	1,929
中村	1,660	53	40	0	3	0	25	284	78	1	4	89	2,237
中	1,058	42	14	4	0	3	1	54	109	0	0	95	1,380
昭和	104	130	10	2	0	0	12	265	67	0	0	17	607
瑞穂	708	127	2	4	0	0	35	198	115	1	7	103	1,300
熱田	496	34	2	5	2	0	25	51	24	0	0	5	644
中川	587	46	10	1	1	0	26	374	360	5	16	1,231	2,657
港	285	93	12	29	3	0	6	507	226	2	4	155	1,322
南	1,267	67	84	7	1	0	16	328	135	6	3	172	2,086
守山	901	62	13	0	0	2	8	156	165	2	0	25	1,334
緑	968	143	70	1	1	2	55	269	409	109	30	323	2,380
名東	117	109	40	202	10	2	32	164	278	5	4	797	1,760
天白	212	80	29	11	3	0	32	172	347	3	15	391	1,295
合計	11,778	1,473	402	291	41	12	336	3,664	2,980	153	99	3,974	25,203

表3－8 精神保健福祉訪問援助件数（職種別）　（令和７年度）

保健センター名	嘱託医		精神保健福祉相談員		保健師		その他		計	
	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数
千種	0	0	77	197	65	130	4	32	146	359
東	0	0	35	137	44	99	9	46	88	282
北	0	0	73	168	79	106	1	30	153	304
西	0	0	49	210	106	196	10	55	165	461
中村	0	0	191	602	108	181	1	32	300	815
中	0	0	35	120	60	105	12	47	107	272
昭和	5	5	31	66	7	11	8	16	51	98
瑞穂	0	0	36	112	52	83	2	16	90	211
熱田	0	0	42	136	17	36	1	16	60	188
中川	0	0	63	216	166	347	4	12	233	575
港	0	0	45	99	104	221	3	7	152	327
南	0	0	30	88	94	220	4	35	128	343
守山	0	0	45	185	50	112	8	50	103	347
緑	0	1	47	129	195	301	10	52	252	483
名東	1	1	68	311	37	60	9	66	115	438
天白	0	0	50	115	169	272	19	40	238	427
合計	6	7	917	2,891	1,353	2,480	105	552	2,381	5,930

表3－9 精神保健福祉訪問援助件数(分類別)　　(令和7年度)

保健センター名	実人員	延件数												
		社会復帰	高齢者精神保健	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
千種	146	121	55	3	8	0	0	0	58	51	2	6	55	359
東	88	128	17	0	0	0	0	8	38	44	1	3	43	282
北	153	151	21	7	0	0	0	5	47	53	0	0	20	304
西	165	231	17	5	0	0	0	2	66	80	0	2	58	461
中村	300	413	191	3	0	0	0	6	114	33	4	6	45	815
中	107	147	14	3	0	0	0	0	14	54	0	0	40	272
昭和	51	25	6	0	0	0	0	1	57	6	0	0	3	98
瑞穂	90	69	33	0	2	0	0	13	40	29	0	1	24	211
熱田	60	112	25	0	2	0	0	8	22	15	0	1	3	188
中川	233	145	2	2	2	0	0	16	74	111	2	1	220	575
港	152	98	9	5	3	0	0	7	106	81	3	2	13	327
南	128	124	7	11	1	0	8	19	62	33	1	0	77	343
守山	103	212	14	6	0	0	0	0	30	67	1	0	17	347
緑	252	143	21	11	0	0	3	16	116	99	0	19	55	483
名東	115	65	15	9	26	12	0	0	28	74	0	1	208	438
天白	238	96	14	1	0	0	0	15	44	144	1	6	106	427
合計	2,381	2,280	461	66	44	12	11	116	916	974	15	48	987	5,930

表3－10　精神保健福祉メール相談件数（分類別）

保健センター名	延件数												
	社会復帰	高齢者精神保健	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
千種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
北	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	13
西	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
中村	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
中	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
昭和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中川	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
港	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	10
南	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
守山	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
緑	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
名東	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
天白	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
合計	86	0	0	0	0	0	0	20	2	0	0	0	108

表3－11　精神保健福祉相談・訪問援助延件数の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	7,525	8,377	12,487	13,522	15,933
電話相談延件数	26,716	26,148	25,018	23,961	25,203
訪問援助延件数	4,486	4,637	5,189	5,606	5,930
メール相談件数	88	66	81	113	108
合計	38,815	39,228	42,775	43,202	47,174

表3－12 こころの健康相談日の状況 （令和7年度）

保健センター名	開催回数	相談件数
千種	47	52
東	22	34
北	26	42
西	50	73
中村	20	21
中	17	24
昭和	21	7
瑞穂	48	23
熱田	37	60
中川	48	48
港	54	2
南	23	17
守山	17	24
緑	50	18
名東	48	12
天白	42	36
合計	570	493

表3－13 こころの健康相談日の推移

区分	3	4	5	6	7
開催回数	505	506	508	560	570
相談延件数	532	535	583	531	493

表3－14 精神保健福祉相談件数(再掲 ひきこもり) （令和7年度）

保健センター名	再掲 ひきこもり					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	9	21	6	13	75	0
東	1	1	1	3	1	0
北	6	12	2	2	25	0
西	7	13	2	5	14	0
中村	0	0	1	1	0	0
中	1	1	2	3	1	0
昭和	1	2	0	0	2	0
瑞穂	1	1	1	3	42	0
熱田	2	10	0	0	17	0
中川	15	23	6	12	47	0
港	6	11	5	8	19	0
南	1	1	1	3	12	0
守山	6	12	1	1	3	0
緑	4	4	1	1	4	0
名東	1	4	0	0	11	0
天白	5	14	8	15	20	0
合計	66	130	37	70	293	0

表3－15 精神保健福祉相談件数(再掲 ひきこもり)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	186	187	264	206	130
訪問延件数	155	128	200	181	70
電話延件数	756	596	664	540	293
メール延件数	6	2	7	12	0
合 計	1,103	913	1,135	939	493

表3－16 精神保健福祉相談件数(再掲 自殺関連) （令和７年度）

保健センター名	再掲 自殺関連					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	44	60	1	12	126	0
東	0	0	4	7	0	0
北	1	2	1	1	0	0
西	17	23	0	7	21	0
中村	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	5	0
昭和	0	0	1	6	9	0
瑞穂	0	0	1	2	0	0
熱田	0	0	0	0	0	0
中川	4	5	2	2	23	0
港	8	8	0	0	8	0
南	0	0	0	0	0	0
守山	2	2	1	2	3	0
緑	26	31	1	2	57	0
名東	1	1	1	1	4	0
天白	0	1	6	5	35	0
合計	103	133	19	47	291	0

表3－17 精神保健福祉相談件数(再掲 自殺関連)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	70	126	102	133	133
訪問延件数	24	21	40	43	47
電話延件数	160	279	340	278	291
メール延件数	1	1	0	0	0
合 計	255	427	482	454	471

表3－18 精神保健福祉相談件数(再掲 自死遺族) （令和７年度）

保健センター名	再掲 自死遺族					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延相談
千種	0	0	0	0	0	0
東	0	0	0	0	0	0
北	0	0	0	0	0	0
西	0	0	0	0	0	0
中村	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	1	0
昭和	0	0	0	0	0	0
瑞穂	0	0	0	0	0	0
熱田	0	0	0	0	0	0
中川	0	0	0	0	0	0
港	0	0	0	0	0	0
南	0	0	0	0	0	0
守山	0	0	0	0	0	0
緑	0	0	0	0	1	0
名東	0	0	0	0	0	0
天白	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	2	0

表3－19 精神保健福祉相談件数(再掲 自死遺族)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	5	3	3	1	0
訪問延件数	1	0	1	0	0
電話延件数	3	6	8	0	2
メール延件数	0	0	0	0	0
合 計	9	9	12	1	2

表3－20 精神保健福祉相談件数(再掲 犯罪被害) （令和７年度）

保健センター名	再掲 犯罪被害					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	1	1	0	0	2	0
東	0	0	0	0	1	0
北	0	0	0	0	0	0
西	1	2	1	1	3	0
中村	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
昭和	0	0	0	0	28	4
瑞穂	0	0	0	0	0	0
熱田	0	0	0	0	0	0
中川	0	0	0	0	0	0
港	0	0	0	0	0	0
南	0	0	0	0	0	0
守山	0	0	0	0	0	0
緑	0	0	0	0	0	0
名東	0	0	0	0	4	0
天白	0	0	0	0	0	0
合計	2	3	1	1	38	4

表3－21 精神保健福祉相談件数(再掲 犯罪被害)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	3	2	0	0	3
訪問延件数	0	2	2	2	1
電話延件数	1	3	5	15	38
メール延件数	0	0	2	0	4
合 計	4	7	9	17	46

表3－22 精神保健福祉相談件数(再掲 災害) （令和７年度）

保健センター名	再掲 災害					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	0	0	0	0	0	0
東	0	0	0	0	0	0
北	0	0	0	0	0	0
西	0	0	0	0	0	0
中村	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
昭和	0	0	0	0	0	0
瑞穂	0	0	0	0	2	0
熱田	0	0	0	0	0	0
中川	0	0	0	0	0	0
港	0	0	0	0	0	0
南	0	0	0	0	0	0
守山	0	0	0	0	0	0
緑	0	0	1	1	3	0
名東	0	0	0	0	0	0
天白	2	2	0	0	2	0
合計	2	2	1	1	7	0

表3－23 精神保健福祉相談件数(再掲 災害)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	1	9	7	2	2
訪問延件数	11	6	18	0	1
電話延件数	46	23	63	6	7
メール延件数	0	0	0	0	0
合 計	58	38	88	8	10

表3－24 精神保健福祉相談(再掲 発達障害) （令和７年度）

保健センター名	再掲 発達障害					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	46	166	10	22	100	0
東	9	31	9	20	194	0
北	7	15	8	19	62	0
西	9	13	27	39	118	0
中村	35	50	22	28	105	0
中	13	41	17	35	158	27
昭和	1	4	2	17	56	0
瑞穂	4	8	19	23	151	0
熱田	3	19	1	10	34	0
中川	22	48	32	79	426	0
港	333	337	16	30	181	0
南	2	2	13	32	53	0
守山	9	11	3	8	33	0
緑	237	243	27	42	154	0
名東	23	88	20	57	284	0
天白	21	68	35	64	210	6
合計	774	1,144	261	525	2,319	33

表3－25 精神保健福祉相談(再掲 発達障害)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	402	508	871	892	1,144
訪問延件数	308	316	450	597	525
電話延件数	1,734	1,665	2,113	2,339	2,319
メール延件数	38	4	9	15	33
合 計	2,482	2,493	3,443	3,843	4,021

表3－26 普及啓発の状況 （令和７年度）

保健センター名	地域住民への講演会等		うつ病に関する講演会等		精神障害者（家族）に対する教室等		うつ病に関する家族教室等		地域住民と精神障害者との地域交流		計	
	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数
千種	2	1,190	0	0	16	165	0	0	0	0	18	1,355
東	1	20	0	0	6	32	0	0	0	0	7	52
北	3	13	0	0	4	66	0	0	0	0	7	79
西	1	0	0	0	4	94	0	0	0	0	5	94
中村	6	668	0	0	0	0	0	0	0	0	6	668
中	2	185	0	0	13	71	0	0	0	0	15	256
昭和	1	155	0	0	4	21	0	0	0	0	5	176
瑞穂	5	1,266	0	0	2	26	0	0	0	0	7	1,292
熱田	4	86	0	0	4	54	0	0	0	0	8	140
中川	2	51	0	0	0	0	0	0	0	0	2	51
港	0	0	0	0	25	156	0	0	2	40	27	196
南	2	193	0	0	13	181	0	0	1	18	16	392
守山	0	0	0	0	6	40	0	0	0	0	6	40
緑	1	135	0	0	2	16	0	0	0	0	3	151
名東	2	155	0	0	6	25	0	0	0	0	8	180
天白	4	192	0	0	11	48	0	0	0	0	15	240
計	36	4,309	0	0	116	995	0	0	3	58	155	5,362

表3－27 普及啓発の推移

区分	3	4	5	6	7
開催回数	76	127	143	140	155
延人員	902	2,117	3,487	3,493	5,362

表3－28 組織育成の状況　　（令和７年度）

保健センター名	援助件数					
	患者会	家族会	依存症の自助団体・回復施設	職親会	その他	計
千種	0	10	0	0	22	32
東	0	0	0	0	0	0
北	0	0	0	0	0	0
西	0	1	0	0	2	3
中村	10	9	8	8	83	118
中	0	0	0	0	0	0
昭和	0	1	1	0	10	12
瑞穂	0	6	0	0	2	8
熱田	0	3	0	0	0	3
中川	0	1	7	0	13	21
港	0	0	0	0	0	0
南	0	1	0	0	0	1
守山	0	0	0	0	0	0
緑	0	0	0	0	0	0
名東	0	0	0	0	0	0
天白	0	0	0	0	0	0
計	10	32	16	8	132	198

表3－29 組織育成の推移

区分	3	4	5	6	7
支援件数	70	99	137	147	198

表3－30 連絡調整に関する会議 （令和７年度）

保健センター	保健センター主催	開催回数	参加機関・団体数		議事内容（延件数）					
				福祉関係機関(再掲)	基本的実施方針に関する事項	実施体制の確保に関する事項	サービス提供の指針に関する事項	事業評価に関する事項	その他	計
千種	主催	46	299	292	38	31	25	64	166	324
	その他	71	412	377	14	13	9	20	166	222
	計	117	711	669	52	44	34	84	332	546
東	主催	37	136	1	0	0	0	0	37	37
	その他	0	516	84	3	3	0	0	47	53
	計	37	652	85	3	3	0	0	84	90
北	主催	53	148	0	3	0	0	2	53	58
	その他	0	574	1	0	0	0	0	0	0
	計	53	722	1	3	0	0	2	53	58
西	主催	27	48	45	1	1	0	1	27	30
	その他	0	1,026	927	41	1	2	11	96	151
	計	27	1,074	972	42	2	2	12	123	181
中村	主催	69	167	40	81	49	78	2	4	214
	その他	0	870	313	140	151	219	17	11	538
	計	69	1,037	353	221	200	297	19	15	752
中	主催	47	168	156	10	9	1	0	47	67
	その他	0	811	749	80	72	2	3	84	241
	計	47	979	905	90	81	3	3	131	308
昭和	主催	25	66	5	15	11	9	2	10	47
	その他	0	30	21	4	4	3	3	1	15
	計	25	96	26	19	15	12	5	11	62
瑞穂	主催	5	13	12	0	0	0	0	4	4
	その他	0	838	824	0	0	0	0	78	78
	計	5	851	836	0	0	0	0	82	82
熱田	主催	13	53	26	13	0	2	0	2	17
	その他	0	666	305	73	0	0	0	1	74
	計	13	719	331	86	0	2	0	3	91
中川	主催	21	212	191	20	15	8	7	1	51
	その他	0	618	575	51	30	23	16	12	132
	計	21	830	766	71	45	31	23	13	183
港	主催	5	12	7	2	2	2	0	3	9
	その他	0	865	381	55	18	5	5	20	103
	計	5	877	388	57	20	7	5	23	112
南	主催	9	38	10	9	9	0	0	0	18
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9	38	10	9	9	0	0	0	18
守山	主催	21	40	0	21	2	5	2	8	38
	その他	0	577	11	59	6	3	3	50	121
	計	21	617	11	80	8	8	5	58	159
緑	主催	36	78	68	36	36	33	8	3	116
	その他	0	38	30	6	6	6	0	2	20
	計	36	116	98	42	42	39	8	5	136
名東	主催	23	48	8	0	0	0	0	23	23
	その他	0	4	3	0	0	0	0	1	1
	計	23	52	11	0	0	0	0	24	24
天白	主催	5	23	13	5	5	5	5	5	25
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	23	13	5	5	5	5	5	25
計	主催	442	1,549	874	254	170	168	93	393	1,078
	その他	1,225	11,068	6,131	727	500	361	127	847	2,562
	計	1,667	12,617	7,005	981	670	529	220	1,240	3,640

表3－31　連絡調整に関する会議の推移

区分	3	4	5	6	7
開催回数	315	903	1,425	1,545	1,667
参加機関・団体数	1,884	7,106	11,130	11,584	12,167

表3－32　精神保健福祉事例検討会の状況　（令和7年度）

開　催　日	事例提供	テ　ー　マ
令和7年5月14日(火)	守山保健センター	事例 「障害者虐待通報が複数回になったケースへの対応について」
令和7年7月8日(火)	瑞穂保健センター	事例「あなたならどうする？入院が必要と言われている人の対応」
	天白保健センター	事例「受診勧奨について(4ケース)」
令和7年9月9日(火)	昭和保健センター	事例 「危機介入時の訪問について」
令和7年11月11日(火)	西保健センター 守山保健センター	事例「関わりが定期的かつ長期に渡るケースの今後の展望について」
令和8年1月13日(火)	中村保健センター 港保健センター	事例「『犯罪という側面』と『治療の対象という側面』を併せ持つケースについて」
令和8年3月10日(火)	天白保健センター	事例「『カスタマーハラスメント』と『合理的配慮』の兼ね合いとは？」

表3－33 精神保健福祉業務研究会の状況　（令和 7 年度）

開 催 日	テ ー マ
令和 7 年 4 月 22 日(火)	1 異動者あいさつ 2 幹事会の引継ぎ 3 各種委員等の選出 4 精神保健福祉センターからの業務連絡 5 健康増進課からの業務連絡
令和 7 年 6 月 10 日(火)	1 相談員会会則の変更について 2 精神保健福祉業務報告について 3 勉強会(仮称)について（グループワーク） 4 健康増進課からの業務連絡 5 精神保健福祉センターからの業務連絡
令和 7 年 8 月 12 日(火)	1 情報提供(記録の書き方について) 2 意見交換(区の取り組みについて) 3 精神保健福祉事例集について 4 健康増進課からの業務連絡 5 精神保健福祉センターからの業務連絡 6 にも包括に係るモデル事業の検証について
令和 7 年 10 月 14 日(火)	1 健康増進課からの業務連絡 2 精神保健福祉センターからの業務連絡 3 精神保健福祉事例集について 4 精神保健福祉センターとの連携について 5 精神保健における DX 推進について(意見交換) 6 入院者訪問支援事業について 7 保健医療型アウトリーチ支援モデル事業ヒアリング
令和 7 年 12 月 9 日(火)	1 健康増進課からの業務連絡 2 精神保健福祉センターからの業務連絡 3 保健医療型アウトリーチ支援モデル事業について 4 「にも包括」の取り組みについて
令和 8 年 2 月 10 日(火)	1 健康増進課からの業務連絡 2 精神保健福祉センターからの業務連絡 3 「にも包括」の取り組みについて

（2）精神保健福祉センターここらぼ

表3－34　一般電話相談　（令和 7 年度）

実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
1,686	2,457	80	827	33	23	22	14	132	551	96	14	0	665

表3－35　一般電話相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	1,458	1,157	1,460	1,561	1,686
延件数	2,395	1,502	1,960	1,979	2,457

表3－36　来所相談　（令和 7 年度）

実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
29	29	1	14	0	2	0	0	3	2	3	0	0	4

表3－37　来所相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	21	20	15	22	29
延件数	22	21	20	26	29

表3－38　文書相談（FAX、メール等を含む）　（令和 7 年度）

実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
44	46	3	13	1	5	4	1	0	18	0	1	0	0

表3－39　文書相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	18	32	40	39	44
延件数	27	34	50	62	46

表3－40　一般予約相談　（令和 7 年度）

実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
42	59	0	0	7	3	40	0	0	9	0	0	0	0

表3－41　一般予約相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	72	77	53	61	42
延件数	79	86	72	63	59

表3－42　依存症相談窓口専用電話　（令和 7 年度）

区分	実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
合計	805	1252	9	19	254	91	345	31	5	264	1	4	0	229

表3－43　依存症相談窓口専用電話の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	580	637	709	713	805
延件数	1,032	1,059	959	1,163	1,252

※ 平成 30 年 7 月 2 日より事業開始。

表3－44　特定相談　（令和 7 年度）

区分	来所者性別	実人員	延件数
思春期	男	6	6
	女	39	39
	小計	45	45
依存症※1	男	32	32
	女	47	50
	小計	79	82
自死遺族	男	2	2
	女	3	3
	小計	5	5
ひきこもり	男	6	11
	女	11	12
	小計	17	23
司法書士※2	男	6	6
	女	1	1
	小計	7	7
合計	男	50	56
	女	102	106
	合計	153	162

※1 平成 29 年度まで薬物リハビリテーション相談として実施し、平成 30 年度に依存症相談拠点となった時点で依存症相談に変更した。

※2 令和3年度より通年での実施を開始。依存症相談窓口やひきこもり地域支援センターへの相談来所者が対象。

表3－45　特定相談の推移

年度		3	4	5	6	7
思春期	実人数	49	41	54	41	45
	延件数	53	43	55	43	45
依存症※1	実人数	76	83	79	83	79
	延件数	76	85	85	85	82
自死遺族	実人数	11	8	16	8	5
	延件数	12	9	18	9	5
ひきこもり	実人数	22	31	24	31	17
	延件数	22	31	31	31	23
司法書士※2	実人数	5	3	8	3	7
	延件数	13	3	9	3	7

※1 平成 29 年度まで薬物リハビリテーション相談として実施し、平成 30 年度に依存症相談拠点となった時点で依存症相談に変更した。

※2 令和 3 年度より開始。依存症相談窓口やひきこもり地域支援センターへの相談来所者が対象。

表3－46　こころの健康電話相談　（令和 7 年度）

実人員	延件数
839	1,719

表3－47　こころの健康電話相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	946	842	1,027	1,187	839
延件数	1,618	1,647	1,889	1,982	1,719

表3－48　家族教室（家族のつどい含む）　（令和 7 年度）

区分	回数	延人員
家族教室	41	657

※ひきこもりの家族教室、家族のつどいを含む。NAT-G は個別実施があるため一般予約相談に計上

表3－49　家族教室の推移（家族のつどい含む）

年度	3	4	5	6	7
回数	33	45	41	41	41
延人員	388	544	484	559	657

表3－50　普及啓発　（令和 7 年度）

区分	回数	延人員
普及啓発	4	2,703

表3－51 普及啓発の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	4	4	4	4	4
延人員	7,789	2,479	4,298	2,565	2,703

表3－52 組織育成 （令和 7 年度）

区分	回数
組織育成	33

表3－53 組織育成の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	17	28	30	36	33

表3－54 人材育成 （令和 7 年度）

区分	回数	延人員
人材育成	112	1,847

表3－55 人材育成の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	49	59	97	94	112
延人員	604	898	1,272	1,748	1,847

表3－56 技術指導・技術援助 （令和 7 年度）

区分	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	その他	合計
保健センター	0	43	2	0	1	2	3	9	4	64
福祉事務所	0	9	0	0	1	0	1	1	0	12
市町村	0	47	0	4	3	1	1	1	15	72
医療施設	4	22	5	2	4	0	3	0	3	43
障害者支援施設	0	39	1	1	2	2	0	5	2	52
社会福祉施設	4	16	4	1	3	1	7	3	23	62
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	50	2	8	3	2	1	6	23	97
合計	10	226	14	16	17	8	16	25	70	402

表3－57 技術指導・技術援助の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	178	330	346	313	402

表3－58 集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」） （令和 7 年度）

区分	実人員	実施延件数		
		集団	個別	計
男	31	73	0	73
女	1	2	0	2
合計	32	75	0	75

表3－59 集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」）の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	28	25	22	37	32
延人員	76	84	41	110	75

※ 令和 2 年度より事業開始。

表3－60 ひきこもり地域支援センター相談 （令和 7 年度）

区分	電話相談		来所相談	
	実人員	延件数	実人員	延件数
男	344	1,261	186	1,004
女	156	519	63	320
その他	20	25	1	1
合計	520	1,805	250	1,325

※相談対象者の性別で計上

表3－61 ひきこもり地域支援センター相談の推移

年度		3	4	5	6	7
電話相談	実人数	294	330	281	330	520
	延件数	972	1,526	1,808	1,526	1,805
来所相談	実人数	192	175	216	175	250
	延件数	848	855	1,113	855	1,325
出張相談	実人数	35	24	38	24	72
	延件数	103	75	122	75	209

※ 平成 24 年 5 月より事業開始。

表3－62 ひきこもり地域支援センター居場所利用 （令和 7 年度）

区分	実施回数	実人員	延人員
男	52	13	106
女		13	55
その他		0	0
合計	52	26	161

表3－63 ひきこもり地域支援センター居場所利用の推移

	6	7
実施回数	41	52
実人員	25	26
延人員	96	161

※ 令和 6 年 6 月より居場所開設。

（3）地域包括ケアシステムの構築推進

精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、地域住民の協力を得ながら本市域の地域保健医療福祉の一体的な取組を推進し、地域共生社会の実現に向けて、必要な調整を行う。

ア　保健、医療、福祉関係者の協議の場の開催

（ア）一人ひとりのネットワークづくり

一人ひとりの措置入院者につき合議体を開催し、退院後支援計画の策定等実施に係る調整を行った。

表3－64　措置入院者の退院後支援に係る状況

年度		3	4	5	6	7
支援対象者になりうる措置入院者（同意対象者）		65 人	94 人	84 人	86 人	90 人
支援対象者実数		121 人	138 人	147 人	169 人	119 人
内訳	今年度新規	58 人	57 人	55 人	57 人	49 人
	前年度継続	79 人	90 人	114 人	90 人	70 人
同意なし		23 人	44 人	29 人	63 人	24 人
支援期間終了者		30 人	41 人	40 人	42 人	28 人
次年度継続者		79 人	90 人	114 人	70 人	74 人
内訳	未同意	23 人	54 人	22 人	54 人	53 人
	アセスメント中	25 人	15 人	17 人	15 人	10 人
	計画作成中	21 人	30 人	20 人	30 人	3 人
	計画期間中	21 人	15 人	11 人	15 人	8 人

表3－65　措置入院者の退院後支援に係る合議体開催状況

年度		3	4	5	6	7
合議体開催回数		111 回	92 回	80 回	108 回	77 回
合議体参加機関数		延 488 機関	延 422 機関	延 342 機関	延 418 機関	延 315 機関
合議体の開催状況内訳	アセスメント前合議体	延 26 回	延 13 回	12 回	延 16 回	延 7 回
	アセスメント前合議体参加機関数	延 68 機関	延 53 機関	延 46 機関	延 55 機関	延 35 機関
	総合アセスメント合議体	延 33 回	延 28 回	延 27 回	延 27 回	延 9 回
	総合アセスメント合議体参加機関数	延 134 機関	延 106 機関	延 99 機関	延 77 機関	延 53 機関
	計画作成合議体	延 33 回	延 33 回	延 24 回	延 37 回	延 23 回
	計画作成合議体参加機関数	延 179 機関	延 164 機関	延 124 機関	延 153 機関	延 103 機関
	計画再調整合議体	延 0 回	延 3 回	延 4 回	延 6 回	延 5 回
	計画再調整合議体参加機関数	延 0 機関	延 15 機関	延 16 機関	延 46 機関	延 31 機関
	計画終了の合議体	延 19 回	延 15 回	延 13 回	延 22 回	延 33 回
	計画終了の合議体参加機関数	延 107 機関	延 84 機関	延 57 機関	延 87 機関	延 93 機関

※合議体及び参加機関数は延べ件数

（イ）地域ブロックのネットワークづくり

地域における支援者間の連絡調整のために、市内の 4 つの地域（表 3-63 表側参照）に応じて、その地域に関係する関係行政機関等を構成員として調整会議の名古屋市精神障害者支援地域ブロック調整会議を地域毎に開催した。

表3－66　名古屋市精神障害者支援地域ブロック調整会議開催状況

ブロック	区分	3 年度	4年度	5 年度	6 年度	7 年度
東ブロック（千種・中・昭和・名東）	開催回数	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回
	参加機関数	延63機関	延47機関	延43機関	延51機関	延41機関
	1 回あたり平均参加機関数	21機関/回	15.6機関/回	14.3機関/回	17機関/回	13.6機関/回
	その他調整会議	8回	12回	6回	7回	9回
	その他調整会議参加機関数	延36機関	延59機関	延32機関	延59機関	延65機関
西ブロック（中村・熱田・中川・港）	開催回数	3回	3回	3回	3回	3 回
	参加機関数	延45機関	延44機関	延54機関	延63機関	延60機関
	1 回あたり平均参加機関数	15機関/回	14.6機関/回	18.0機関/回	21機関/回	20機関/回
	その他調整会議	41回	14回	14回	14回	14回
	その他調整会議参加機関数	延118機関	延56機関	延100機関	延55機関	延69機関
南ブロック（瑞穂・南・緑・天白）	開催回数	3回	3回	3回	3回	3 回
	参加機関数	延51機関	延51機関	延39機関	延51機関	延47機関
	1 回あたり平均参加機関数	17機関/回	17機関/回	13機関/回	17機関/回	15.6機関/回
	その他調整会議	15回	16回	15回	8回	6回
	その他調整会議参加機関数	延117機関	延84機関	延83機関	延84機関	延43機関
北ブロック（東・北・西・守山）	開催回数	3回	3回	3回	3回	3 回
	参加機関数	延60機関	延61機関	延63機関	延70機関	延65機関
	1 回あたり平均参加機関数	20機関/回	20.3機関/回	21機関/回	23.3機関/回	21.6機関/回
	その他調整会議	8回	10回	5回	5回	5回
	その他調整会議参加機関数	延47機関	延62機関	延30機関	延38機関	延43機関

表3－67　ブロックの取り組み　（令和 7 年度）

ブロック名	主な取り組み
東ブロック （千種・中・昭和・名東）	令和 7 年度の目標を、①病棟相談会の取り組みの質を高め、院内や地域の支援者に知ってもらい、にも包括の活動を広げる。②ピアサポーターの活躍の場を広げ、ピアサポーターと支援機関、病院をつなぐ仕組みを作る。③住住まいのガイドブックを活用していくとし、以下の取り組みを行った。 （1）ピアサポーター交流会との交流 （2）病棟相談会の意見を構成員みんなでだせるような仕組みづくりやよりよくするための議論 （3）病棟相談会を5回開催 （4）住まいのガイドブックの在り方について検討
西ブロック （中村・中川・熱田・港）	令和 7 年度は、①ピアサポート事業の活用、②家族の支援、③にも包括の普及啓発を目標とし、課題抽出を中心に取り組みを行った。 ブロック調整会議の内容は下記の通り。 （1）家族支援に関する取り組みの共有・地域課題の抽出 （2）にも包括ケアシステム構築支援事業における東海ブロック会議の参加報告 （3）地域移行支援の決定者数、長期入院者数推移等の課題整理 その他、院内相談会にてピアサポート活用事業、社会資源見学事業の利用、4区合同相談支援事業所学習会の開催。
南ブロック （瑞穂・南・緑・天白）	連携をテーマに、各区・各機関の取り組みについて共有し、相互理解を深めるとともに、各機関での取り組みに繋げていくことを目標に行った。 （1）ブロック調整会議における各機関の取組みや事業の共有 （2）「連携」について講義、事例を段階（フェーズ）にわけて、それぞれのフェーズにおける各機関の視点や困難さについて意見交換。（発症前後～入院まで） （3）第 2 回に続き、フェーズ（入院中～退院後の生活）について意見交換。全体を通して、抽出された内容を整理して検討。
北ブロック （東・北・西・守山）	ピアサポート活用事業の入院患者へ向けた活用の展開及び地域アセスメントと地域課題の抽出を取り組み目標とした。 (1)市や保健センター、ここらぼにおける取り組みを報告するとともに、グループワークで地域の支援機関同士の相互理解を図った。 (2)地域アセスメントと地域課題について、各区の状況を確認し意見交換を行った。 (3)ブロック内の精神科病院においてピアサポート活用事業を実施。ブロック調整会議にピアサポーターに出席してもらい、活動報告やリカバリーストーリーを発表。

表3－68　名古屋市精神障害者支援地域ブロック調整会議合同報告会

区分	3 年度	4年度	5年度	6 年度	7 年度
開催回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
参加機関数	延 44 機関	延 43 機関	延 47 機関	延 34 機関	延 34 機関

※　令和元年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を理由に中止。

（ウ）市域全体のネットワークづくり

名古屋市精神障害者支援地域調整会議を開催し、構成員の意見を聴取し、連絡調整を行った。

表3－69　名古屋市精神障害者支援地域調整会議開催状況

開催日	令和8年2月26日
会場	名古屋市公館　レセプションホール
議題等	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取組みにおけるモデル事業の検証について
出席者数	22 人（21 機関）

表3－70　名古屋市精神障害者支援地域調整会議開催状況推移

	3 年度	4年度	5 年度	6 年度	7 年度
開催回数	1	1	1	1	1
参加機関数	27	25	22	19	21

イ 支援施策

（ア）ピアサポートの活用

各区の障害者基幹相談支援センターに委託して、精神障害者ピアサポーター及び精神障害者ピアサポーター支援者を登録し、登録したピアサポーターが自身の体験談等を直接伝えることを活用して、長期入院者等への退院の動機づけ及び地域住民や支援者等への普及啓発活動を実施した。

また、精神保健福祉センターこころぼにおいて、精神障害者ピアサポーターの養成等を行った。

表3－71 名古屋市精神障害者ピアサポーター活用事業 （令和7年度）

区	ピアサポーター派遣先数	実績数	ピアサポーター			ピアサポーター支援者		
			登録者数	実活動者数	延活動者数	登録者数	実活動者数	延活動者数
千種	8か所	11	7	4	9	1	1	2
東	3か所	8	10	3	4	5	1	4
北	7か所	11	31	10	11	0	0	0
西	36か所	99	30	24	55	10	5	44
中村	5か所	16	5	4	8	5	3	8
中	5か所	6	1	1	5	0	1	1
昭和	8か所	32	8	3	14	4	2	18
瑞穂	4か所	4	6	2	4	0	0	0
熱田	0か所	0	4	0	0	0	0	0
中川	13か所	16	4	4	14	1	1	2
港	2か所	5	11	3	3	3	2	2
南	0か所	0	1	0	0	1	0	0
守山	9か所	38	30	15	19	6	5	19
緑	3か所	11	8	6	10	2	1	1
名東	3か所	6	1	1	3	1	1	3
天白	0か所	0	2	0	0	0	0	0
合計	106か所	263	159	80	159	39	23	104

※ 派遣先数は、ピアサポーターが派遣された事業等の数。

※ 実績数は、派遣されたピアサポーター及びピアサポーター支援者の延数。

※ 実活動者数（登録者中実際に活動した者の実数）が登録者数（期末時点数）を上回ることがあるのは、期間中に登録者の異動が起きることがあるため。

表3－72 ピアサポーター派遣先数・実績数推移

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
派遣先数		21か所	42か所	58か所	57か所	92か所	106か所
目的別内訳	動機付け	3か所	3か所	5か所	11か所	5か所	13か所
	普及啓発	39か所	55か所	52か所	81か所	52か所	93か所
実績数		42人	99人	155人	133人	242人	263人

表3－73　精神障害者ピアサポーター養成研修開催状況推移

年度	開催回数	受講者数	うちピアサポーター	うちピアサポーター支援者	備考
3	2 回	49 名	29 名	20 名	
4	3 回	66 名	32 名	34 名	講義編（オンライン）1 回 ・実践編 2 回実施
5	2 回	57 名	39 名	18 名	講義編（オンライン）1 回 ・実践編 1 回開催
6	2 回	58 名	40 名	18 名	講義編（オンライン）1 回 ・実践編 1 回開催
7	2 回	49 名	23 名	26 名	講義編 1 回 ・実践編 1 回開催

表3－74　精神障害者ピアサポーター養成研修修了者フォローアップ

年度	開催回数	参加者数	うちピアサポーター	うちピアサポーター支援者	備考
3	1 回	22 名	13 名	9 名	講義ならびに交流会
4	1 回	14 名	9 名	5 名	講義・グループワーク
5	1 回	14 名	7 名	7 名	講義ならびに交流会
6	1 回	6 名	3 名	3 名	講義ならびに交流会
7	1 回	12 名	5 名	7 名	講義ならびに交流会

（イ）精神障害者の家族支援

精神障害者の家族のピアサポートの力を活用し、精神障害者の家族を支援することを目的として、精神障害者の家族による精神障害者の家族を対象とした精神障害者の家族ピア相談事業及び精神障害者の家族同士の繋がりを深めるため精神障害者の家族を対象とした交流を図る精神障害者家族交流事業を合わせ、名古屋市精神障害者家族ピアサポート総合事業として、名古屋市精神障害者家族会連合会に委託して実施した。

表3－75　家族ピア相談事業実績

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
電話相談延件数	1,792 件	1,486 件	1,307 件	1,358 件	2,137 件
面談相談延件数	979 件	714 件	643 件	460 件	1,051 件

表3－76　精神障害者家族交流事業実績　（令和 7 年度）

開催日	場所	参加者数	事業内容
令和7年10月26日（日）	吹上ホール	195 名	事業名：晴ときどき虹 内容：オープニング（演奏会） 講演会「発達障害とニューロダイバーシティ」 講師：大村　豊　先生（平安通クリニック院長）

表3－77　精神疾患の基礎知識講座

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開催回数	ー	6 回	5 回	7 回	3 回
参加者数	ー	295 名	203 名	304 名	189 名

※令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、中止。

表3－78　家族SST講座

【講師】 吉田　みゆき　氏　（同朋大学　社会福祉学部　教授）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開催回数	7 回	10 回	9 回	9 回	10 回
参加者数	112 名	172 名	73 名	93 名	120 名

（ウ）入院中の精神障害者の地域生活支援

精神科病院に長期入院中の精神障害者に対し、移動用の車両を運行し、病院単位で居住施設や日中活動場所の社会資源を見学する機会を設けることにより、地域生活に対する不安を軽減し、地域生活への移行の動機づけを行った。

表3－79　名古屋市精神障害者社会資源見学事業

年度	回数	参加患者延数（利用病院実数）	見学箇所延数	半年後の状況（把握ができている参加者のみ）		
				退院者	地域移行利用決定者	地域移行利用見込者
3	8	23人（3病院）	延15か所	延 8 人	延 11 人	延 16 人
4	9	30人（3病院）	延17か所	延 9 人	延12 人	延 21 人
5	9	37人（3病院）	延21か所	延 5 人	延 7 人	延 9 人
6	8	35人（2病院）	延19か所	延 2 人	延 0 人	延 2 人
7	10	33人(3病院)	延18か所	延 2 人	延 2 人	延 12 人

（エ）精神障害者地域移行・地域定着支援職員研修

精神科病院、障害福祉サービス事業所、介護保険サービス事業所等の職員に対して、精神障害者の地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解を促進するために、標記研修を行った。

表3－80　精神障害者地域移行・地域定着支援職員研修開催状況推移

年度	名称	対象	開催回数	参加人数	備考
3	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	4 回	延べ 96 名	動画視聴による開催
		精神科病院勤務看護師	中止	中止	
4	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	1 回	延べ 73 名	
		精神科病院勤務看護師	1 回	延べ 22 名	
5	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	1 回	延べ 60 名	
		精神科医療機関職員等	1 回	延べ 24 名	
6	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	1 回	延べ 57 名	
		精神科医療機関職員等	1 回	延べ 27 名	
7	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	1 回	延べ 55 名	
		精神科医療機関職員等	1 回	延べ 19 名	

※　精神科病院勤務看護師向けの研修は、日本精神科看護協会愛知支部と協力して実施。

※　地域ブロックで行っているものは、表 3-65 参照。

（オ）地域密着企画事業

各保健センターが地域づくりを行う地域ネットワークと協同し、地域住民、地域役員等に対し、精神障害等に関する普及啓発を実施する。また、ボランティア団体には精神障害等の関心を促し、ボランティアが障害特性を知る機会を設ける。これらの取組みにより、精神障害者等が地域で安心して暮らしやすくなることを目的とするもの。

表3－81 地域密着企画事業

事業名	内容	開催回数等
○精神保健福祉研修会 東保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 精神疾患の概要や実際の対応方法に関して、知識の普及と病気の理解を深める。 2　対象者 東区障害者自立支援連絡協議会に所属する構成機関等 3　開催日時 令和7年10月31日（金）13時00分～15時30分 4　実施内容 ①「ようこそ依存症の世界へ」～生きづらさと依存症～をテーマに講演会 ②ピアサポーター丹羽さんによる体験談 5　講師 ひぃりんぐ工房とぽす　西野敏夫氏、名古屋ダルク指導員	参加者 16名
○なごやかまつり・ひがし（東区区民まつり）への出展 東保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 多くの市民が集まる「なごやかまつり・ひがし（東区区民まつり）」において、こころの健康づくりに関する知識の普及啓発を行う。 2　開催日時 令和7年10月19日（日） 3　実施内容 保健センターブースにて、保健・栄養・薬・こころの健康にまつわるパネル展示とクイズの出題、参加賞として啓発グッズの配布、アンケートの実施	400名
○メンタルネットきた（自立支援連絡協議会　精神部会）　出前講座 北保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 北区内の支援者（障害福祉サービス事業所）を対象に、精神疾患についての講義や精神障害者ピアサポーター、家族等の話を通して、精神障害への理解の促進及び対応力の向上を図るもの。 2　対象者 北区内障害福祉サービス事業所等 3　開催日時 令和7年10月7日（火）13時30分～15時30分 4　実施内容 ①メンタルネットきたの説明②当事者の話（精神障害者ピアサポーター、名古屋ダルク）③家族の話④精神障害についての講義⑤質疑応答 ※ゲートキーパーハンドブック、高齢者の自殺予防ハンドブックを配布。 5　講師 北区障害者基幹相談支援センター、北区社会福祉協議会、精神障害者ピアサポーター、名古屋ダルク、カトレヤ会（家族会）、こころに寄り添うボランティア・かけはし、精神保健福祉相談員。	参加者 15名

○メンタルネットきた（自立支援連絡協議会　精神部会）　出前講座 北保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 民生委員・児童委員は及び地域支えあい事業ボランティアを対象に、精神疾患についての講義や精神障害者ピアサポーター、家族等の話を通して、精神障害への理解の促進を図り、普及啓発を行うもの。 2　対象者 北区光城学区地域支えあい事業ボランティア等 3　開催日時 令和8年3月9日（月）14時30分～16時 4　実施内容 ①メンタルネットきたの説明②当事者の話（精神障害者ピアサポーター、名古屋ダルク）③家族の話④精神障害についての講義⑤質疑応答 ※ゲートキーパーハンドブック、高齢者の自殺予防ハンドブックを配布。 5　講師 北区障害者基幹相談支援センター、北区社会福祉協議会、精神障害者ピアサポーター、名古屋ダルク、カトレヤ会（家族会）、こころに寄り添うボランティア・かけはし、精神保健福祉相談員	参加者数 9名
○こころの健康講演会 北保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 北区における自立支援医療（精神通院）受給者数（R5年度）のうち、F3コード（うつ病等の気分障害）の受給者数は市全体の平均と比較しても多い。適切な治療により治癒が可能であることを広めることは、精神疾患の患者の早期受診につながると同時に、精神障害に対する正しい理解を促進するためにも重要であることから、区民向けに「こころの健康」をテーマとした講演会を実施する。 2　対象者 原則北区在住・在勤・在学の方 3　開催日時 令和8年1月10日（土）13：30～16：00 4　実施内容 「振り回されない、他人の身勝手なフキハラ（不機嫌ハラスメント）に！～科学的根拠と対処法を知れば脳もごきげんに～」 5　講師 満倉　靖恵　氏　（慶応義塾大学教授）	参加者数 106名
○映画上映会 千種・中・昭和・名東保健センター合同（東ブロック）	1　目的・ねらい こうした状況を踏まえ、精神障害のある方が地域で自分らしく安心して暮らせる社会の実現に向けて、住民への普及啓発活動を強化する必要があると考えた。精神疾患を抱える本人だけでなく、その家族も悩みや葛藤を抱えながら対応していることを知り、地域で共感と支援の土壌が育まれるようになる。 2　対象者 市民、地域の支援者等 3　開催日 令和8年1月14日（水）13：30～16：00 4　実施内容 映画「どうすればよかったか？」の上映、精神科医によるミニ講話	参加人数 155名

○中村区まるごと支援プロジェクト（通称　むらごとプロジェクト）全体会 中村保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　中村区まるごと支援プロジェクト（通称　むらごとプロジェクト）は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進の中村区版の取り組みとして、精神疾患と精神障害の普及啓発と関係機関のネットワーク構築を目的とした協議体。 2　対象者【構成員】 　仕事暮らし自立サポートセンター名駅、中村区北部いきいき支援センター、中村区南部いきいき支援センター、中村区障害者基幹相談支援センター、中村区社会福祉協議会、中村区福祉課、健康福祉局健康増進課、中村保健センター 3　開催日時 　第１回（6月25日）、第２回（10月30日）、第３回（1月28日） 4　実施内容 　むらごとプロジェクト全体会では、各ワーキングチームに全体の進捗状況報告、地域の精神保健福祉に関する課題の意見交換を実施。	各回の出席者数 第1回15名 第2回14名 第3回14名
○中村区まるごと支援プロジェクト－むらごとワーク－ 中村保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のために、地域の支援者の方々や若年者の方々に、精神障害を理解していただき精神障害者支援のための地域のネットワーク構築を進めることを目的に普及啓発を実施する。 2　対象者 　①同朋大学　社会福祉学科　２年生　学生 　②同朋大学　社会福祉学科　１年生　学生 3　開催場所・日時 　同朋大学　①11月6日（木）、②11月21日（金） 4　実施内容 ①ゲートキーパー養成研修（講義）、養成研修後ロールプレイング ②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み 　・精神保健福祉業務と精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 　・事例紹介「精神的不調を抱え、友人と共に相談に来所したケース」 　・実は身近なメンタルヘルス（こころの健康）問題－グループワーク－ 5　講師 　①愛知県臨床心理士会所属　大塚　毬絵先生 　②５区保健センター精神保健福祉相談員（中、西、緑、港、中村）	参加者数 ①　12名 ②　25名
○中村区まるごと支援プロジェクト－むらごとネット－ 中村保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　中村区まるごと支援プロジェクト（通称　むらごとプロジェクト）は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進の中村区版の取り組み。むらごとネットは、関係機関のネットワーク構築を目的としたワーキンググループ。 2　対象者 　中村区北部いきいき支援センター、中村区南部いきいき支援センター、中村区障害者基幹相談支援センター、中村区社会福祉協議会、中村保健センター、中村区自立支援連絡協議会に所属する事業所及びその職 3　開催日時 　令和7年11月13日（月）	参加者数 77名

	4　実施内容 　①講義「問題行動の奥にある人生の声（物語）～子どもの時代から読み解く支援のヒント～」 　②グループワーク 5　講師 　牧野小学校校長　小笠原仁先生	
○中村区まるごと支援プロジェクト－むらごとグッズ－ 中村保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　若年層に多く見られる自傷行為などの相談件数が多く、早期支援が重要となることから、区独自に作成した普及啓発物品「こころの絆創膏」を通して、セルフケアの促進と相談機関の周知を図るとともに、アンケートを通じてその効果を測定し、今後の支援活動に活かす。 2　対象者 　中村区内の市立中学生約2500名、普及啓発活動イベント参加者（全世代） 3　実施内容 　中村区内の市立中学校生とその他若年層を中心とした全世代に対して、中村区版こころの絆創膏「ひとりじゃないよ　おまもり」を配布。相談窓口の情報やQRコードを掲載し、セルフケアと相談機関へのアクセスを促進。同時に効果測定を行う。	若年者版 2,600部 全世代版 2,000部 合計で 4,600部
○精神障害者ピアサポーターと協働して行う、地域移行促進のための普及啓発活動 西保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 　精神障害者ピアサポーターと協働し、医療・福祉関係者や市民、当事者等にピアサポーターの活動の周知だけでなく、精神疾患をより身近に感じることのできるような取組みを行うことで、幅広い層の地域住民に普及啓発を行う。 2　対象者 　医療・福祉関係者や市民、当事者等 3　実施内容 　令和6年度に制作した動画に続き、ピアサポーターの日常の体験や率直な感情を中心に据えた構成で、精神障害を「特別なもの」ではなく、生活に根ざした身近なテーマとして受け止めやすい内容で作成。ピアサポーターの存在や活動意義を支援者や地域住民にわかりやすく伝えるツールとなった。本動画の本格的な活用は次年度以降を予定。	動画制作
○グラフィックレコーディング研修 熱田保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　失声症患者（身体表現性障害を含む）コミュニケーション代替手段として活用されるグラフィックレコーディングについて学ぶことで、対人不安、対人緊張からコミュニケーションに不安を抱えやすい精神疾患障害者への支援においても、支援者とのコミュニケーションの充実や関係促進等につなげる。 2　対象者 　区内の福祉関係機関職員 3　開催日時 　令和7年11月28日（金）13：30～16：30 4　実施内容 　グラフィックレコーディングについて講話とグループワークで実践的 5　講師 　中嶋　信恵　さん　（おでかけカンパニー）	参加者数 16名

○当事者向け健康づくり教室 熱田保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 食事は生活リズムを整え、身体的・精神的な健康を支え、精神障害者のQOL（生活の質）を高めるためにも欠かせない。栄養に関する健康づくり教室を開催し、生活習慣病の予防や健康づくりの大切さを学び、自身の生活を振り返る機会とする。 2　対象者 精神障害者（当事者） 3　開催日時 令和7年12月9日（火）13：00～15：00 4　実施内容 ・保健センター管理栄養士により食事や栄養についての講話 ・試食（寒い朝の甘い焼き芋、ひき肉モヤシ炒め、イタリアンヌードル） ・個別相談	来場者数 26名
○ココロとカラダにやさしいコーヒー講座 南保健センター（南ブロック）	1　目的・ねらい 精神障害者地域活動支援センターで地域住民との交流の場をつくり、精神障害者当事者による事業所（基幹や地活）の紹介やグループ交流、保健センターの役割や説明を、こころの健康に関する普及啓発の機会とする。 2　対象者 地域活動支援センター利用者、地域住民 3　開催日時 令和7年11月17日（月）10時から12時 4　実施内容 ・コーヒー講座（参加者による体験やグループ交流など） ・コーヒーと心身の健康に関する講話（講師、保健センター職員から） 5　講師 鈴木英二　氏　（喫茶スーズ焙煎所）	参加者数 18名
○精神障害者ピアサポーター広報誌発行 守山保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 精神障害に関する普及啓発 2　対象者 地域住民、福祉系大学・専門学校、精神科医療機関、福祉事業所など 3　実施内容 令和8年3月に広報誌の発行	広報誌 600部
○区民まつりでの普及啓発 瑞穂保健センター（南ブロック）	1　目的・ねらい 保健センターブースの来場者に就労継続支援事業所の作品や「こころの健康相談日」の案内を掲載した普及啓発物品を配布することで、地域住民に精神障害者の地域生活やこころの健康について知ってもらう機会とする。 2　開催日時 令和7年11月29日（土） 3　実施内容 瑞穂区民まつりの保健センターブースの来場者に対し、就労継続支援B型の作品を配布した。配布の際には、作品の紹介やこころの健康相談日の案内など来場者への声掛けを行った。	200名分

○血めぐり改善と良質な睡眠のための講座 昭和保健センター（東ブロック）	1　目的・ねらい 不眠等睡眠に悩みを持っている幅広い世代の区民に対し、地域密着企画事業・地域健康づくり事業が共同し、睡眠習慣の向上や、正しい知識の普及、参加者同士の交流により、区民の心身の健康増進に資することを目的とする。 2　開催日時 令和7年12月1日（月）9：30～11：30 3　実施内容 ・「血めぐり改善と睡眠習慣」講座 ・バスオイル制作や参加者同士の交流など 4　講師 大西　奈美枝、山田　紀子（花王グループカスタマーマーケティング株式会社） 飯田　紋子（AEAJ認定アロマテラピーインストラクター）	30名
○天むす会（天白区精神保健・福祉・医療をむすぶ会） 天白保健センター（南ブロック）	1　目的・ねらい 天白区域における精神障害者の福祉・保健・医療にかかわる関係機関が精神障害への理解を深め、意見を交わすことによって相互理解と連携を深める。 2　対象者 天白区域の保健・医療・福祉機関の担当者 3　開催日時 令和8年1月22日（木）　13:30～15：30 4　実施内容 ・講義「依存症とは？地域の医療機関の取組みを学ぼう」 5　講師 古川 優樹 先生　（一ツ山クリニック こころ・アディクションセンター）	21名
○講演会 瑞穂・南・緑・天白保健センター合同 （南ブロック）	1　目的・ねらい 若年層におけるメンタルヘルスの課題は多様化しており、若者との関係構築や対応には、若者の価値観や心理的背景を理解することが求められている。親世代と若者世代の文化や価値観の違いについて講演会を通して理解を深め、適切な声掛けや地域での支援体制の強化を図る。 2　対象者 保健センター職員、福祉・教育・医療機関の支援者、相談支援員、家族など 3　開催日時 令和8年1月29日（木）10：00～12：00 4　実施内容 講演 「ネット世代の若者の特徴と関わり方～今どきの若者の考え方や行動を読み解こう～ 」 5　講師 西川　絹恵　先生　（臨床心理士・公認心理士、社会福祉士）	参加者数 135名

（キ）心のサポーター養成研修

地域包括ケアシステム構築を進めるためには、地域住民等の理解や支えも重要であり、効果的な方法での普及啓発の実施が求められることから、厚生労働省はメンタルヘルス・ファーストエイドの考え方に基づいたメンタルヘルスの初期対応法を普及するプログラムを用いた「心のサポーター養成研修」を令和 3 年度から試行的に開始しました。本市においても地域において精神保健に理解のある住民等を増やすために令和 3 年度のモデル地域に応募し、採択されたため、厚生労働省との共催により「心のサポーター養成研修」を実施しています。

表3－82　心のサポーター養成研修事業実績

年度	開催回数	開催方法	定員	応募者数	受講修了者数
3	2 回	オンライン	40 名	166 名	38 名
4	4 回	会場 2 回 オンライン 2 回	180 名	117 名	86 名
5	8 回	会場 4 回 オンライン 4 回	440 名	627 名	328 名
6	11 回	会場 6 回 オンライン 5 回	1000 名 （会場 1 回分を除く）	682 名	573 名
7	19 回	会場 13 回 オンライン 5 回 ハイブリット 1 回	1000 名 （会場 8 回分、ハイブリット 1 回分を除く）	775 名	648 名

（ク）保健医療型アウトリーチ支援モデル事業

精神保健医療的な支援を必要としていながら、様々な理由で自ら支援を求めることができていない未治療・治療中断の状態にある方等（家族を含む）に対して、精神科医療機関と連携し、精神科医、精神保健福祉士、看護師などの多職種専門チームによるアウトリーチの相談支援を行うことで、個別支援を重点的に行うもの。（令和 4 年1月よりモデルブロックを 2 地域に増加。）

表3－83　保健医療型アウトリーチ支援モデル事業実績

区分		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
新規対象者		3 名	5 名	8 名	3 名	1
支援継続対象者		0 名	3 名	2 名	1 名	1
支援終了者		8 名	2 名	9 名	4 名	1
支援内容内訳	家族等相談支援	延　13 回	延　11 回	延　20 回	延　9 回	延　0 回
	訪問支援	延　25 回	延　8 回	延　26 回	延　15 回	延　4 回
	紹介支援	延　1 回	延　0 回	延　3 回	延　0 回	延　0 回
事前調整中の者		0 名	0 名	0 名	3 名	2 名
備考		R4 年 1 月～ 2地域で実施	2 地域で実施	2 地域で実施	2 地域で実施	2 地域で実施

（ケ）居住体験支援モデル事業

退院後の住まいがないなど居住の確保に課題があり、退院が困難となっている措置入院者の退院後支援において、居住支援法人と連携して退院に向けて単身での居住環境を体験する場を提供するとともに、退院後の住まいの確保の支援を行うもの。（事業開始：令和3年10月）

表3－84　居住体験支援モデル事業に係る利用者数

担当区域	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
東ブロック（千種区・中区・昭和区・名東区）	1 名	0 名	1 名	―	0 名
南ブロック（瑞穂区・南区・緑区・天白区）	1 名	3 名	1 名	3 名	―
北ブロック（東区・北区・西区・守山区）	―	―	―	―	0 名

※実績は延人数であり、前年度からの継続ケースを含む

※令和 6 年度は南ブロックのみの実施